

2022年3月期 第1四半期 決算報告資料

松井証券株式会社

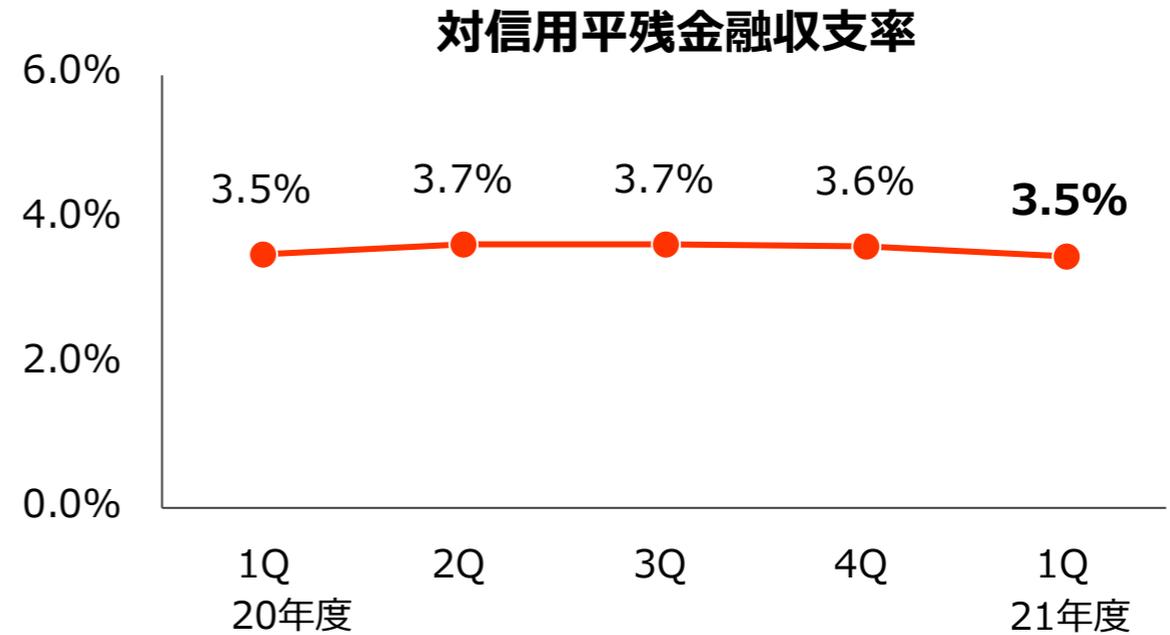
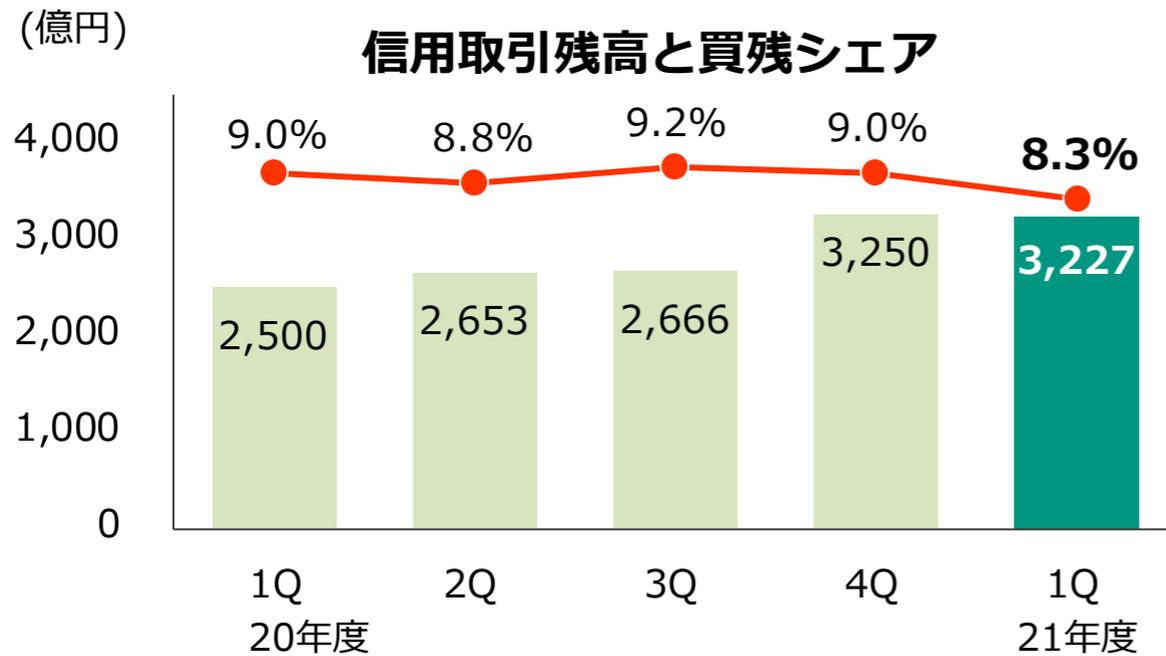
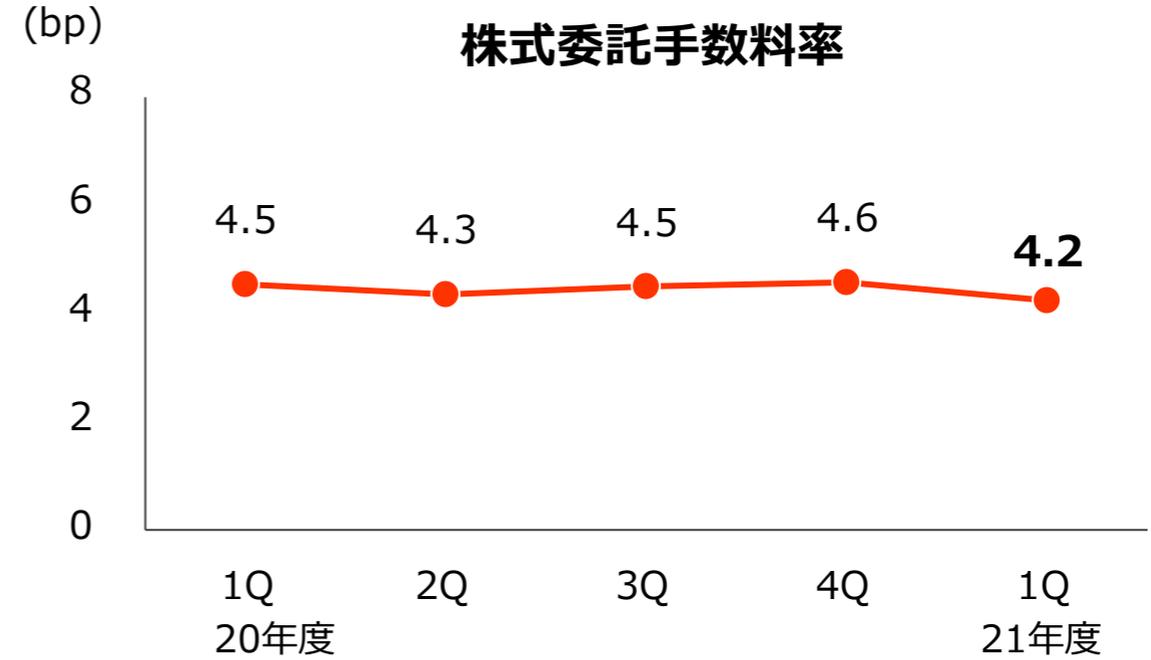
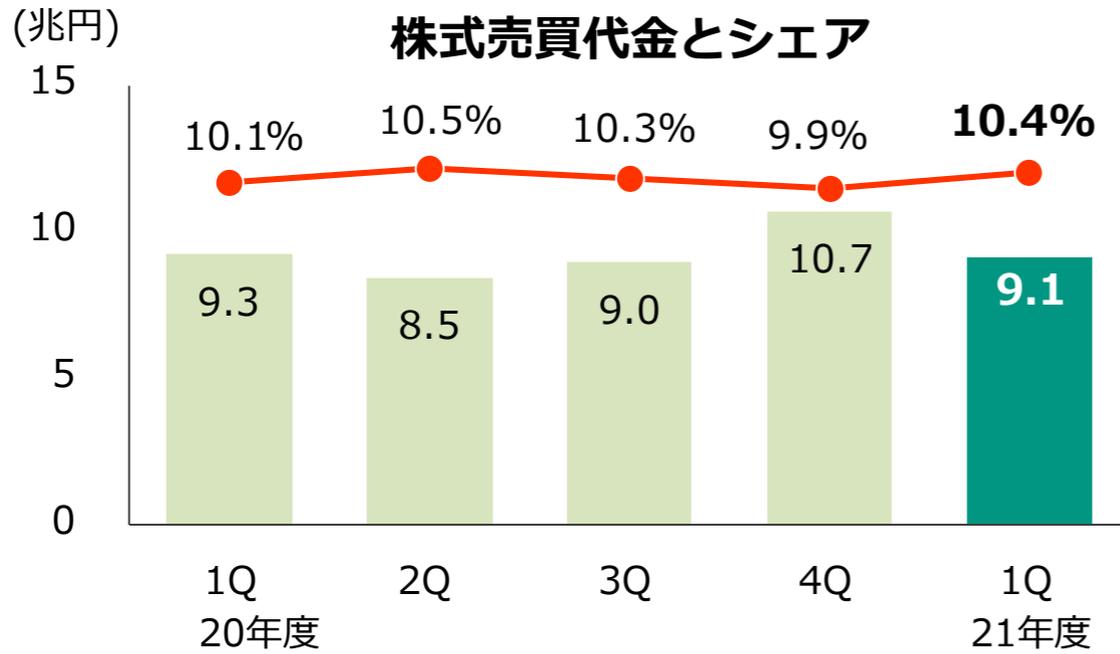
2021年7月27日

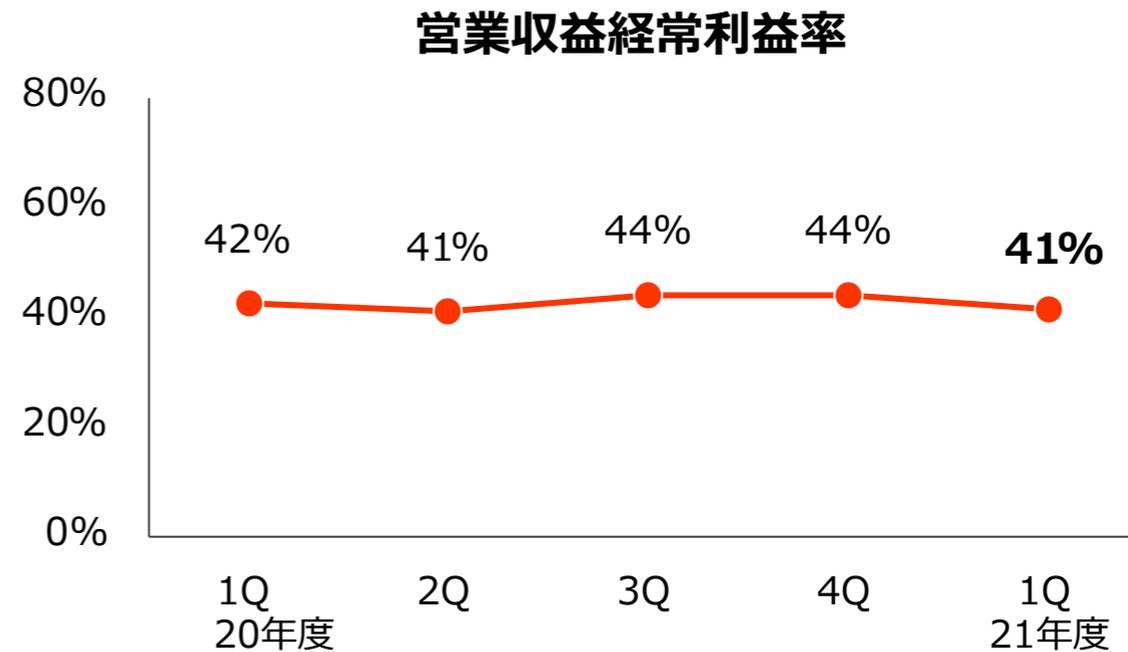
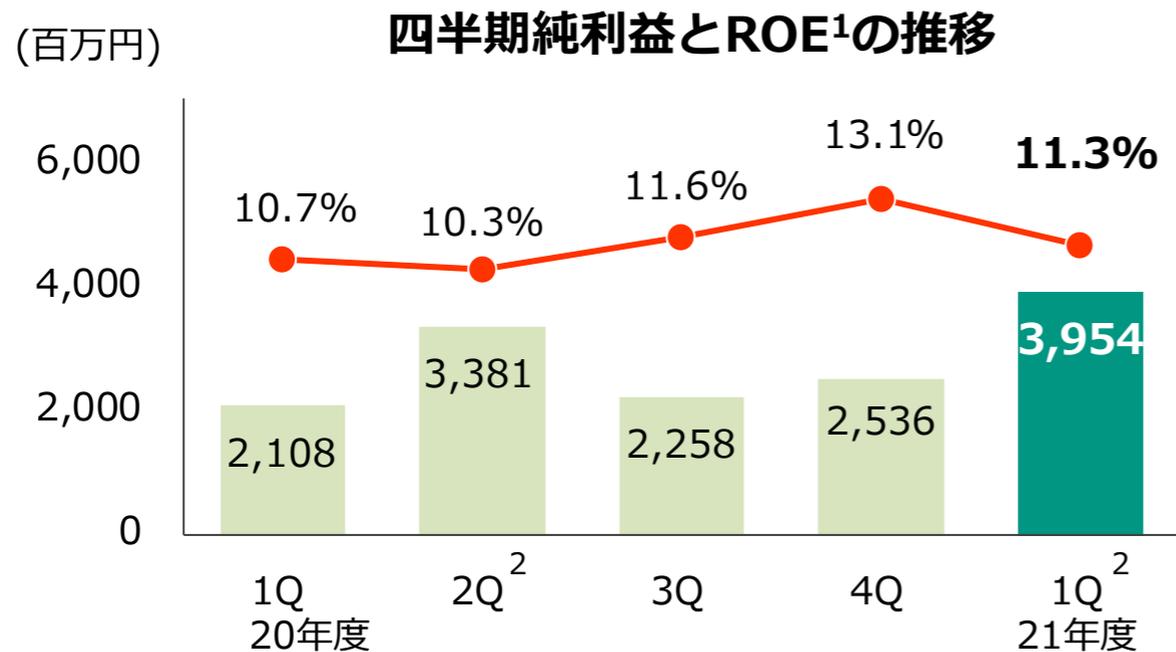
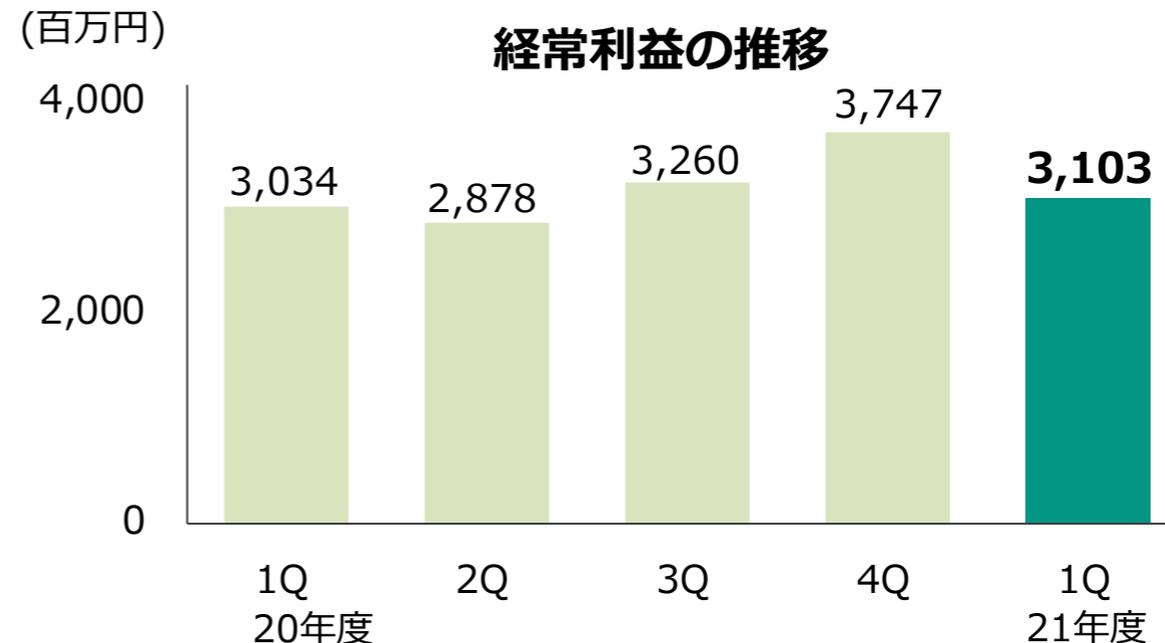
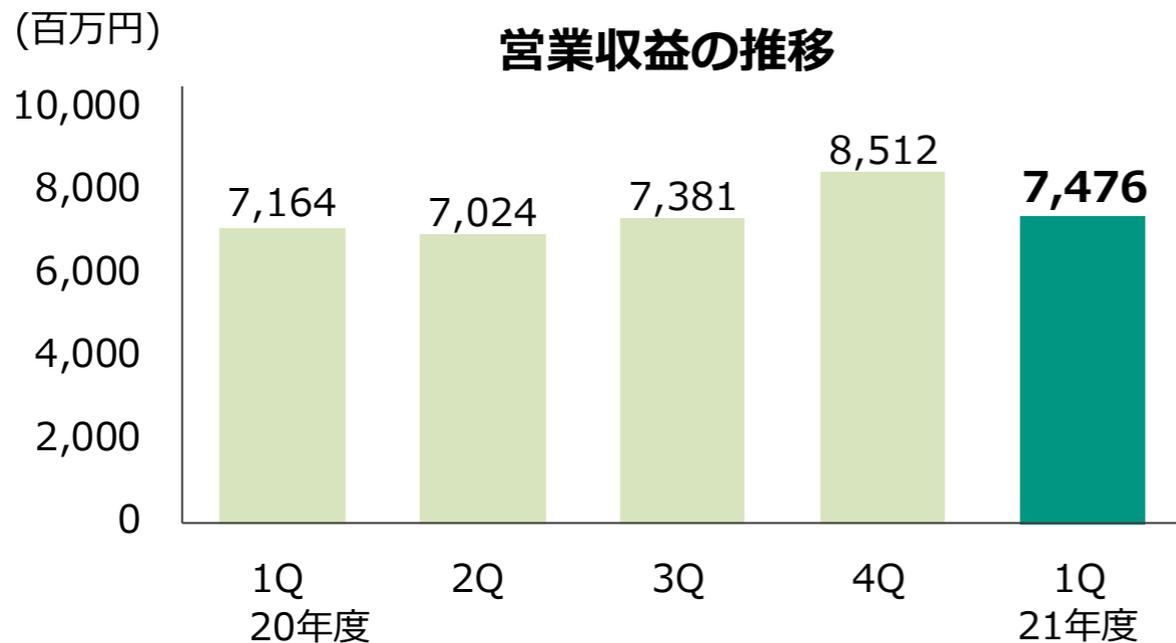
1. 決算の状況

2. ビジネスの状況

3. 経営戦略・取組み施策

Appendix





注1：ROEは各四半期毎に年換算して算出

注2：20年度2Qおよび21年度1Qの四半期純利益は、それぞれ特別利益20億円、26億円（いずれも税引前）を含む。ROEは当該影響を除いて算出

1. 決算の状況

2. ビジネスの状況

3. 経営戦略・取組み施策

Appendix

22年3月期1Qの業績（前年同期比）①

営業収益は**75億円**（前年同期比**4%増**）、経常利益は**31億円**（同**2%増**）
当期純利益は**40億円**（同**88%増**）

（単位：百万円）

	2021年3月期1Q	2022年3月期1Q	前年同期比
営業収益	7,164	7,476	4%
純営業収益	6,830	7,181	5%
販管費	3,853	4,122	7%
営業利益	2,977	3,060	3%
経常利益	3,034	3,103	2%
当期純利益	2,108	3,954	88%
営業収益経常利益率	42%	41%	-
当社株式売買代金（兆円）	9.3	9.1	-2%
当社信用取引平残（億円）	2,194	3,211	46%

22年3月期1Qにおいて、特別利益（投資有価証券売却益）26億円を計上

22年3月期1Qの業績（前年同期比）②

株式売買代金の減少に伴い、受入手数料は**42億円**（前年同期比**9%減**）
信用取引平均残高の増加に伴い、金融収支は**28億円**（同**45%増**）

（単位：百万円）

	2021年3月期1Q	2022年3月期1Q	前年同期比
受入手数料	4,671	4,249	-9%
委託手数料	4,517	4,062	-10%
株式・ETF	4,200	3,851	-8%
先物・オプション	316	211	-33%
その他の受入手数料	154	177	15%
トレーディング損益	225	137	-39%
金融収益	2,268	3,090	36%
金融費用	334	295	-12%
金融収支	1,934	2,795	45%

22年3月期1Qの業績（前年同期比）③

販管費は**41億円**（前年同期比**7%増**）

プロモーションの強化に伴い、**広告宣伝費が増加**

（単位：百万円）

	2021年3月期1Q	2022年3月期1Q	前年同期比
取引関係費	1,378	1,564	14%
取引所・協会費	387	354	-8%
通信・運送費	464	483	4%
広告宣伝費	303	492	62%
人件費	703	706	0%
不動産関係費	274	256	-6%
事務費	797	805	1%
減価償却費	495	588	19%
租税公課	103	163	58%
貸倒引当金繰入	56	△ 22	-
その他	48	62	29%
販管費合計	3,853	4,122	7%

22年3月期1Qの業績（直前四半期比）①

営業収益は**75億円**（直前四半期比**12%減**）

経常利益は**31億円**（同**17%減**）、当期純利益は**40億円**（同**56%増**）

（単位：百万円）

	2021年3月期4Q	2022年3月期1Q	直前Q比
営業収益	8,512	7,476	-12%
純営業収益	8,190	7,181	-12%
販管費	4,464	4,122	-8%
営業利益	3,726	3,060	-18%
経常利益	3,747	3,103	-17%
当期純利益	2,536	3,954	56%
営業収益経常利益率	44%	41%	-
当社株式売買代金（兆円）	10.7	9.1	-15%
当社信用取引平残（億円）	2,890	3,211	11%

22年3月期1Qにおいて、特別利益（投資有価証券売却益）26億円を計上

22年3月期1Qの業績（直前四半期比）②

株式売買代金の減少に伴い、受入手数料は**42億円**（直前四半期比**21%減**）
信用取引平均残高の増加に伴い、金融収支は**28億円**（同**6%増**）

（単位：百万円）

	2021年3月期4Q	2022年3月期1Q	直前Q比
受入手数料	5,347	4,249	-21%
委託手数料	5,147	4,062	-21%
株式・ETF	4,898	3,851	-21%
先物・オプション	249	211	-15%
その他の受入手数料	188	177	-6%
トレーディング損益	217	137	-37%
金融収益	2,948	3,090	5%
金融費用	322	295	-8%
金融収支	2,626	2,795	6%

22年3月期1Qの業績（直前四半期比）③

販管費は**41億円**（直前四半期比**8%減**）

（単位：百万円）

	2021年3月期4Q	2022年3月期1Q	直前Q比
取引関係費	1,828	1,564	-14%
取引所・協会費	405	354	-12%
通信・運送費	503	483	-4%
広告宣伝費	661	492	-26%
人件費	801	706	-12%
不動産関係費	255	256	0%
事務費	832	805	-3%
減価償却費	544	588	8%
租税公課	117	163	39%
貸倒引当金繰入	42	△ 22	-
その他	45	62	39%
販管費合計	4,464	4,122	-8%

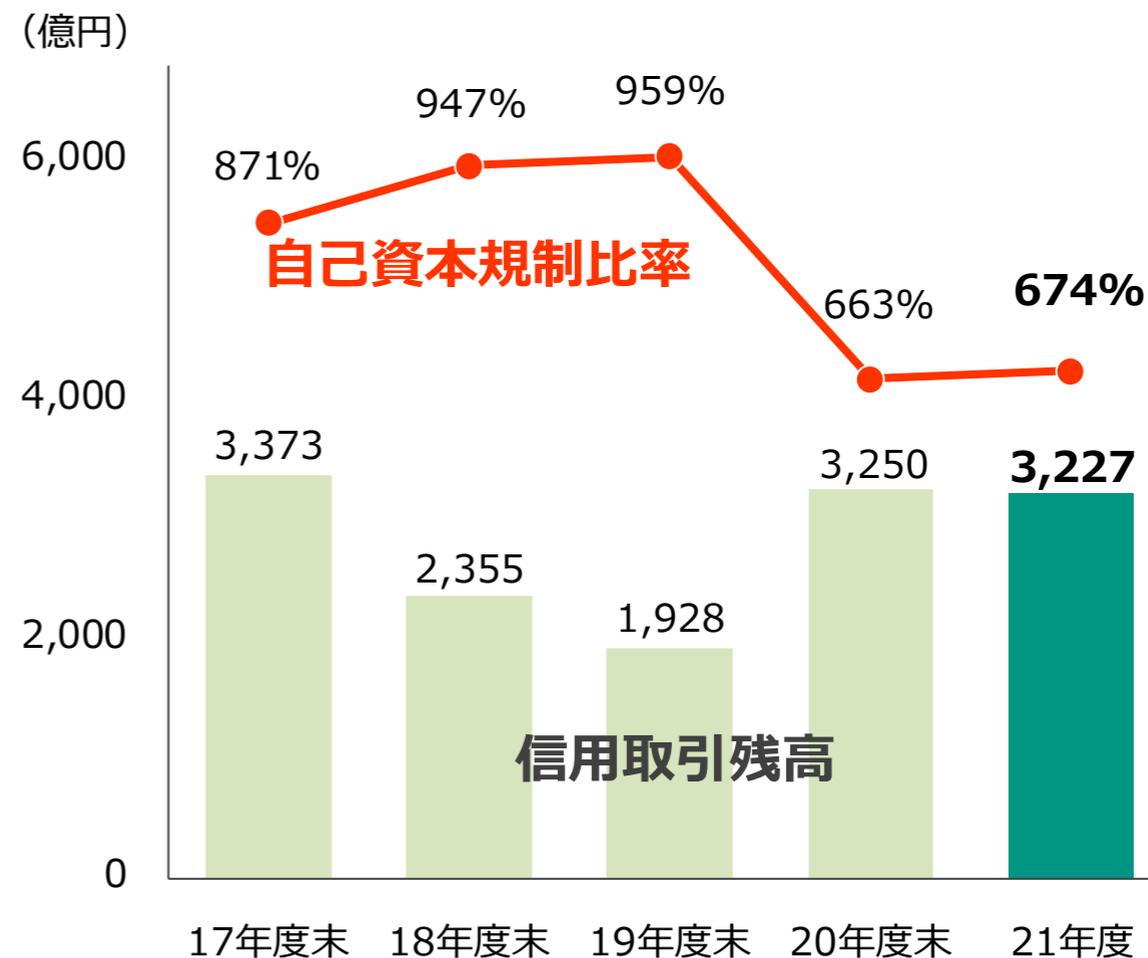
現在の事業を支える上で、十分な規模の自己資本が積みあがっており
 現状における適正な水準を達成している

自己資本規制比率（2021年6月末）

(単位：百万円)

基本的項目	(A)	76,039
補完的項目	その他有価証券評価差額金(評価益)等	292
	金融商品取引責任準備金等	2,933
	一般貸倒引当金	87
計	(B)	3,313
控除資産	(C)	11,541
固定化されていない自己資本	(A) + (B) - (C)	(D) 67,811
リスク相当額	市場リスク相当額	7
	取引先リスク相当額	6,461
	基礎的リスク相当額	3,588
	計	(E) 10,058
自己資本規制比率	(D)/(E)	674%

信用取引残高と自己資本規制比率の推移



1. 決算の状況

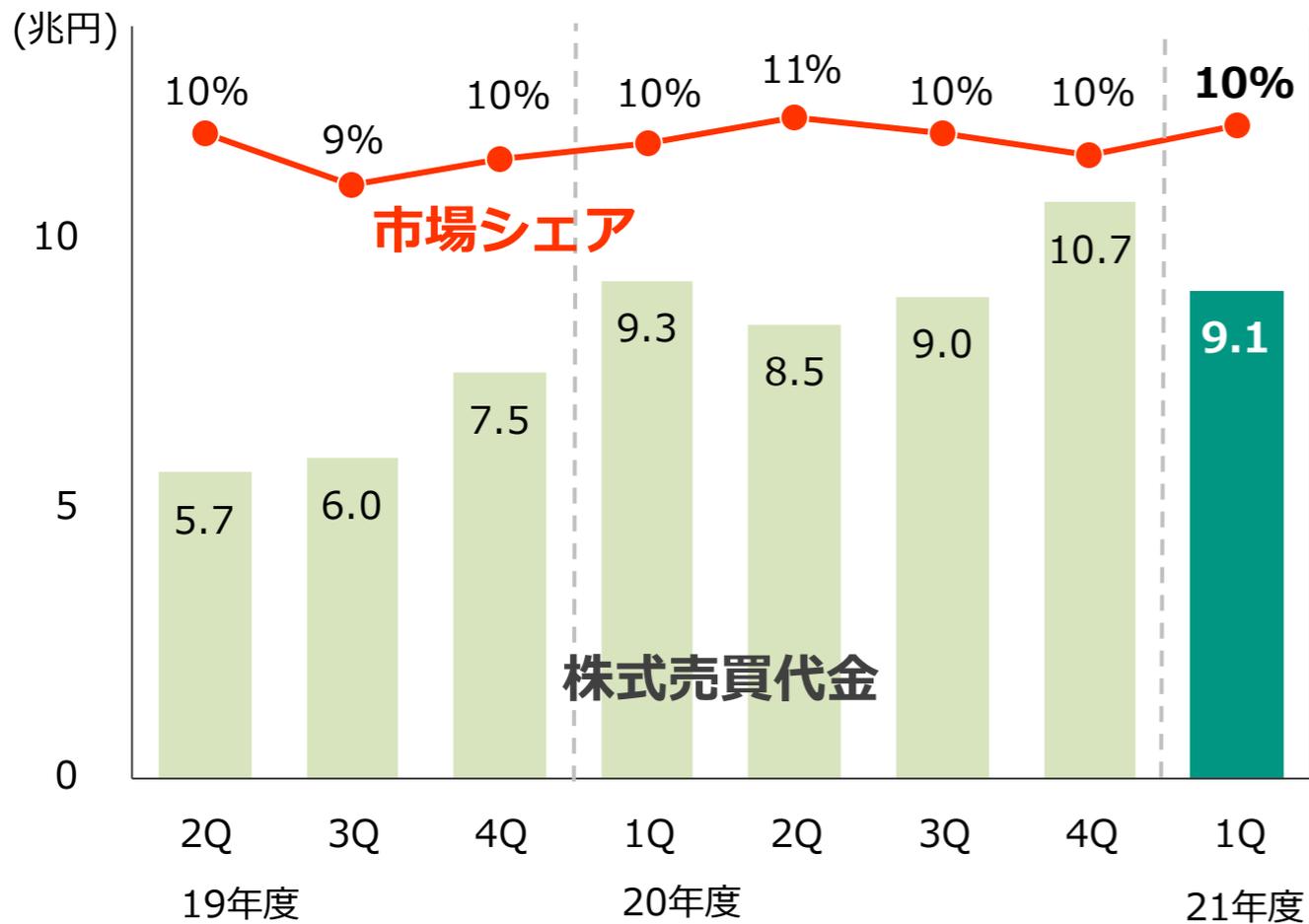
2. **ビジネスの状況**

3. 経営戦略・取組み施策

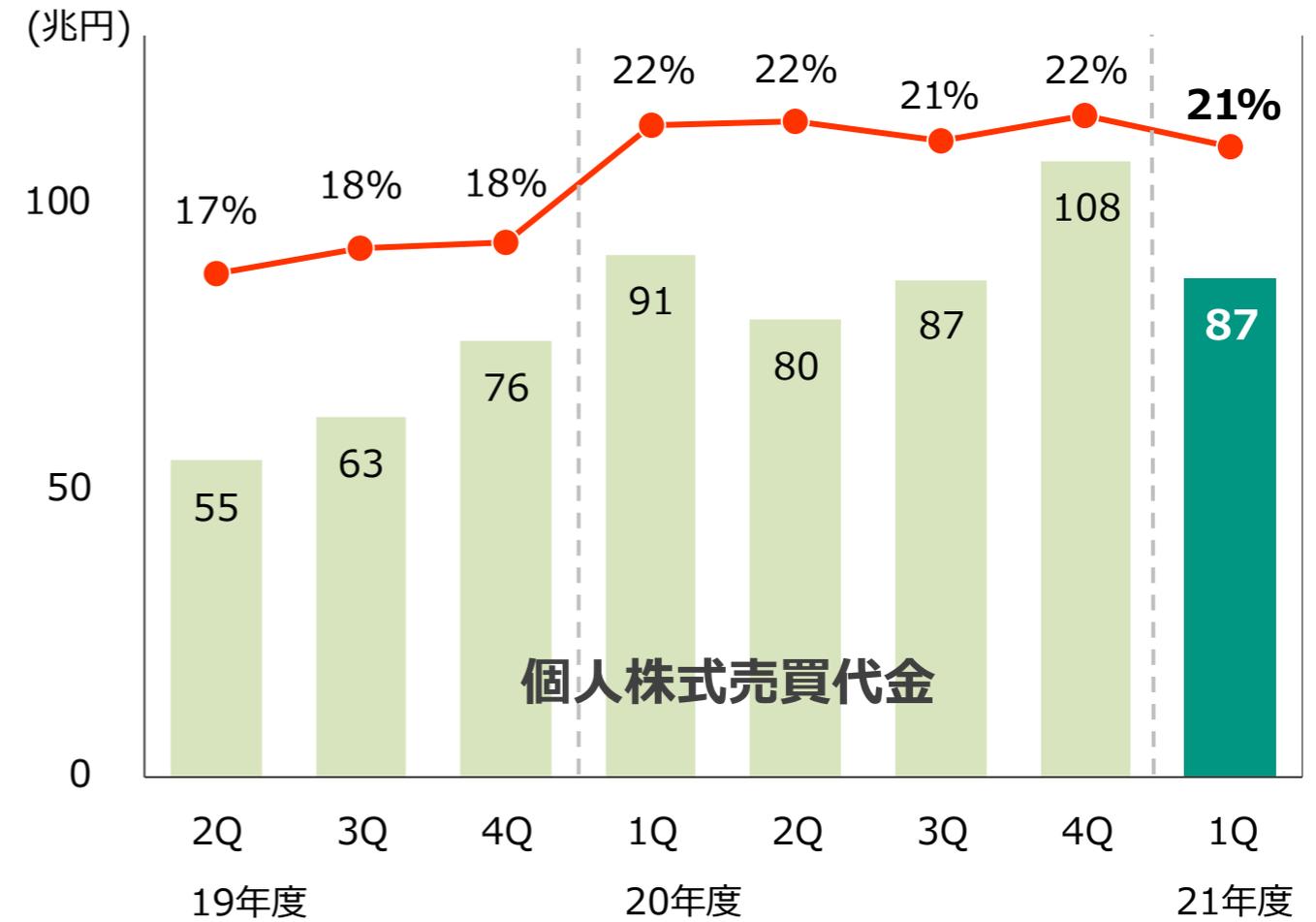
Appendix

当社の市場シェアは**10%**

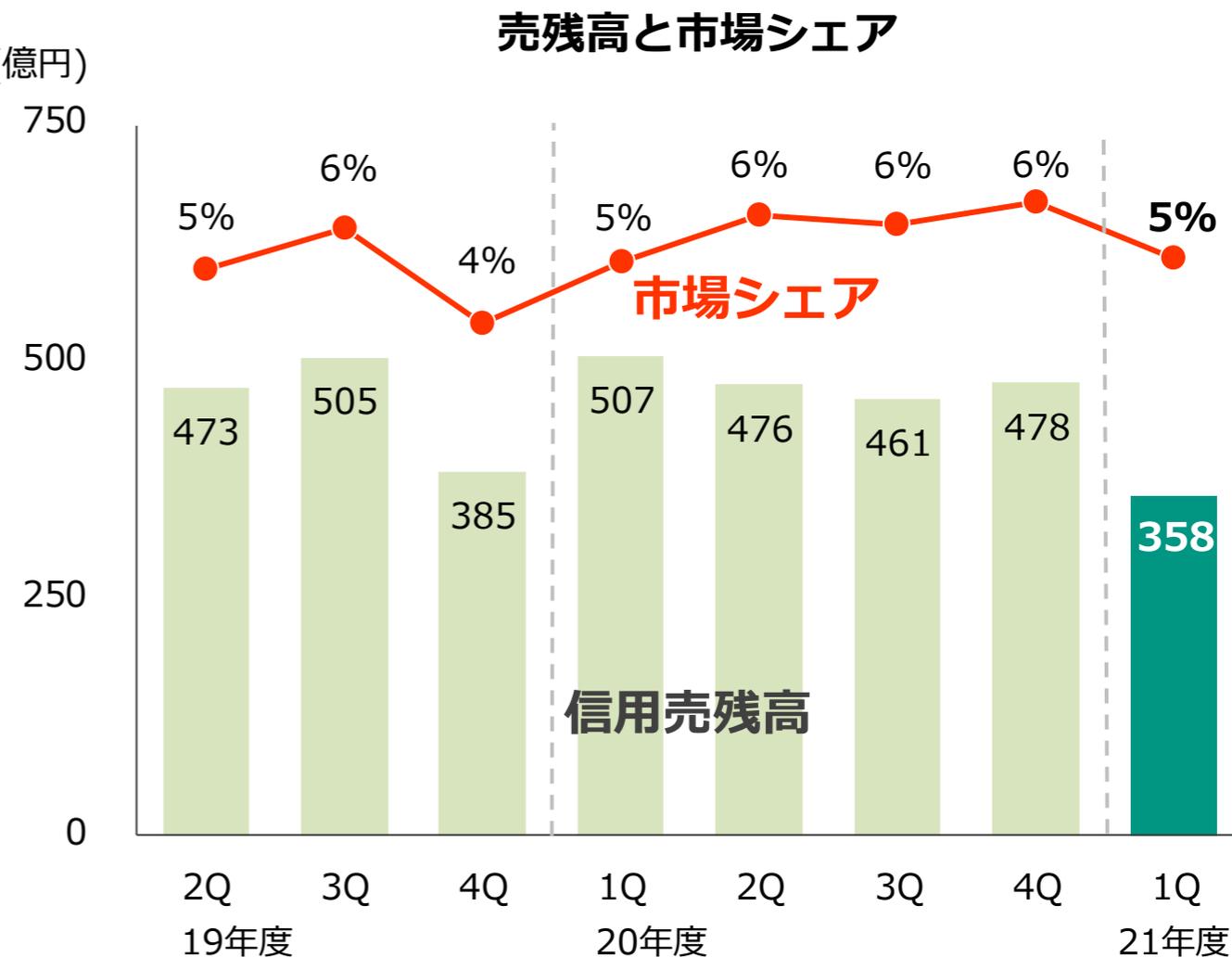
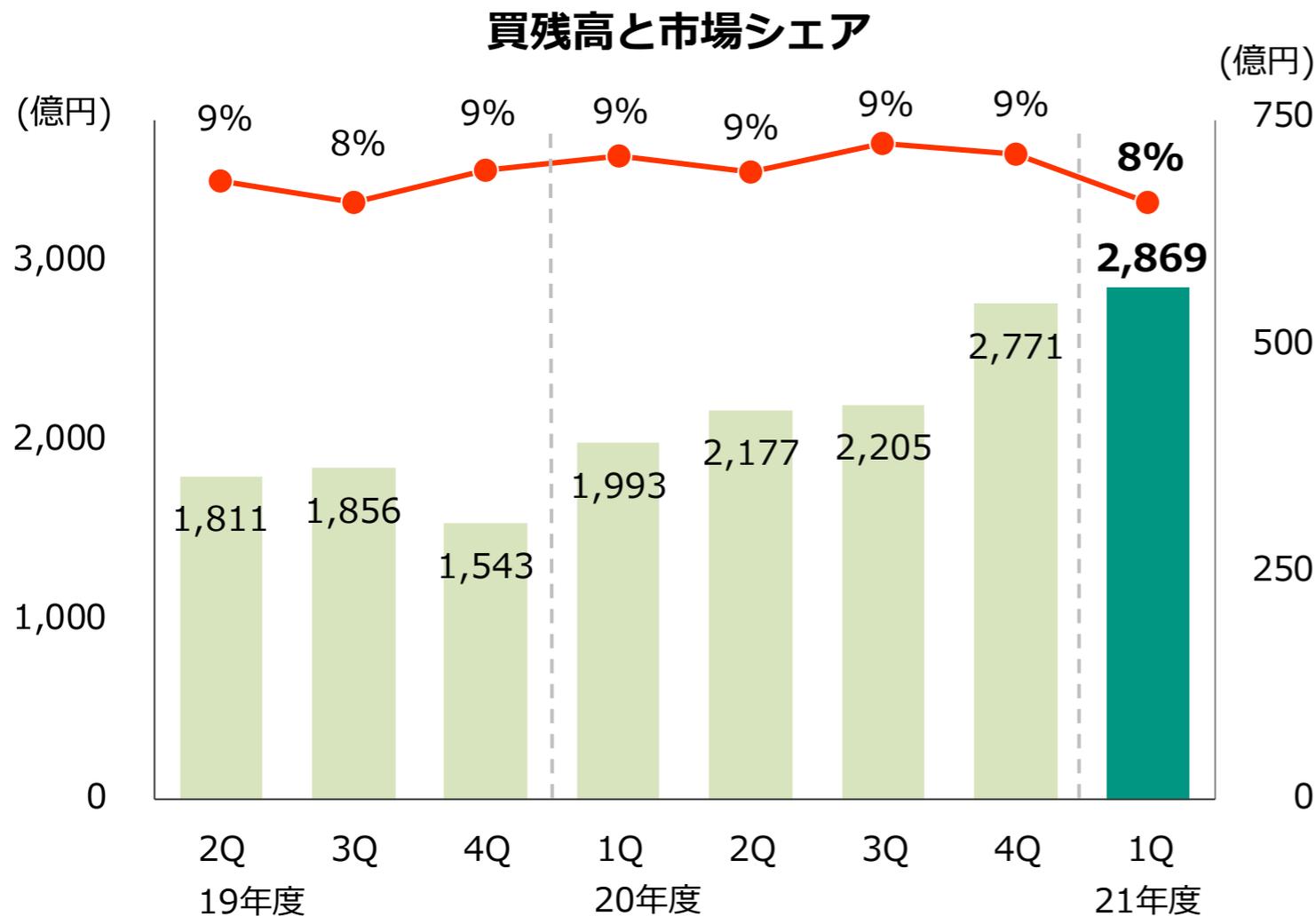
株式売買代金と市場シェア



個人株式売買代金¹と個人比率

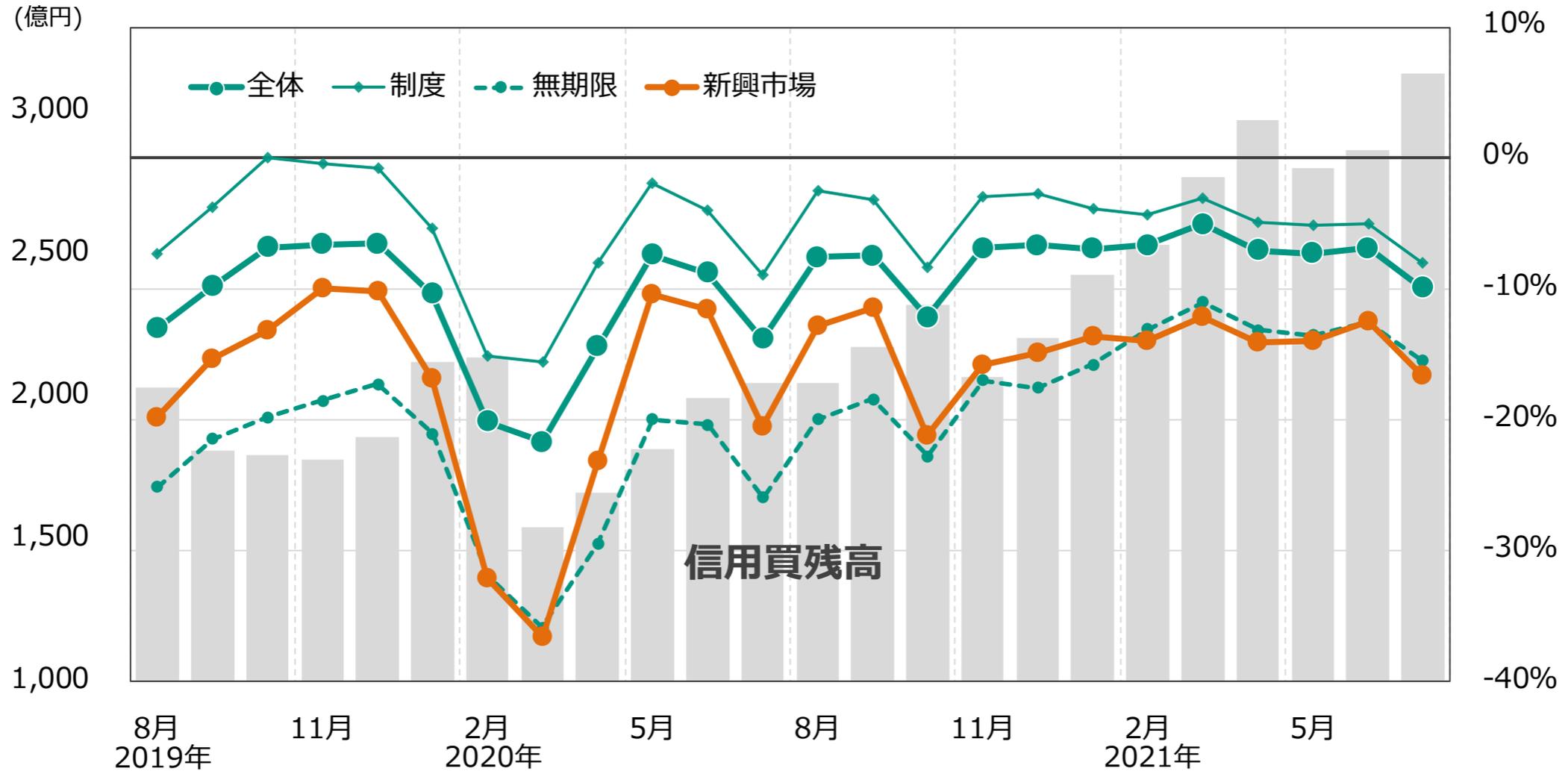


当社の市場シェアは、買残高**8%**、売残高**5%**



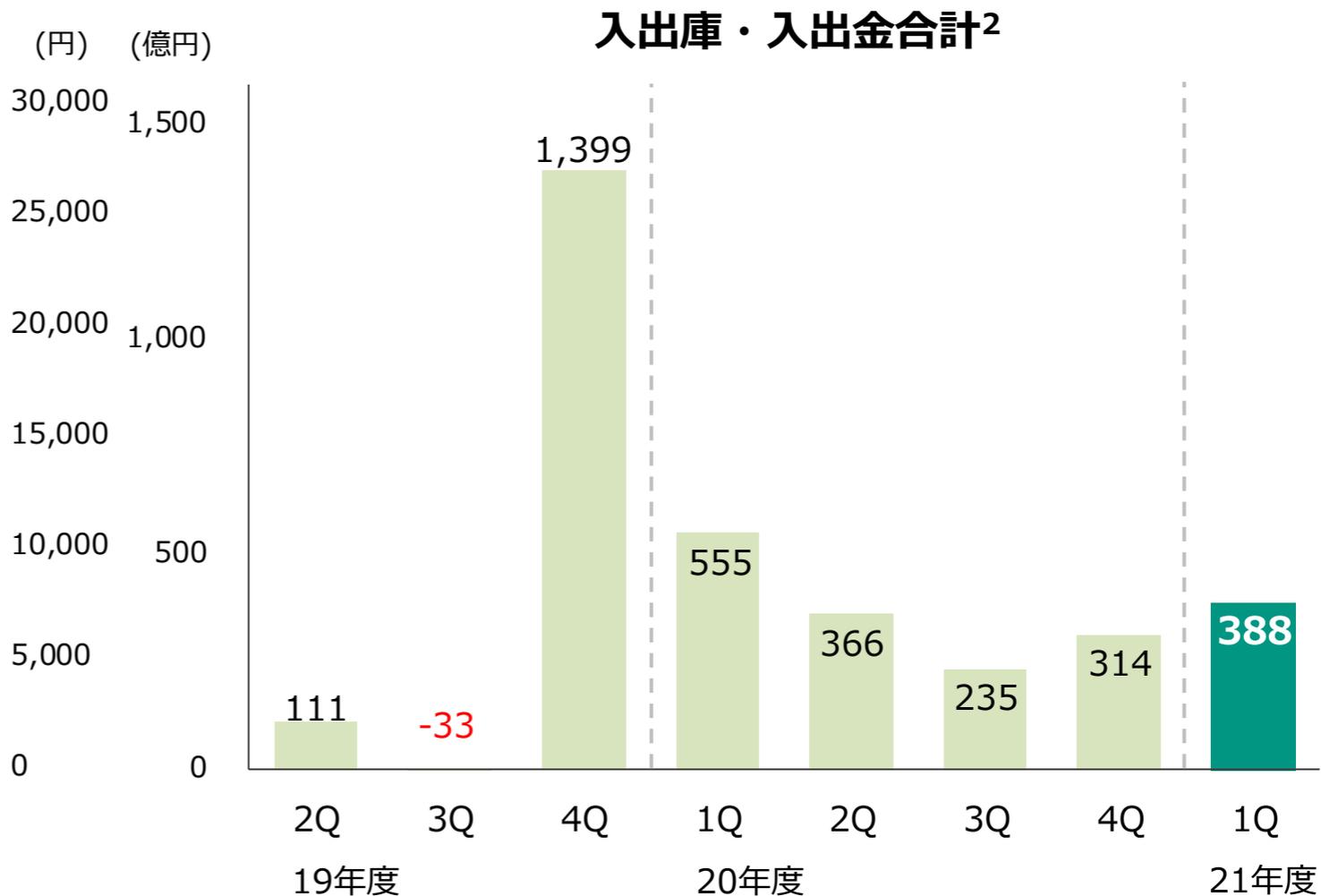
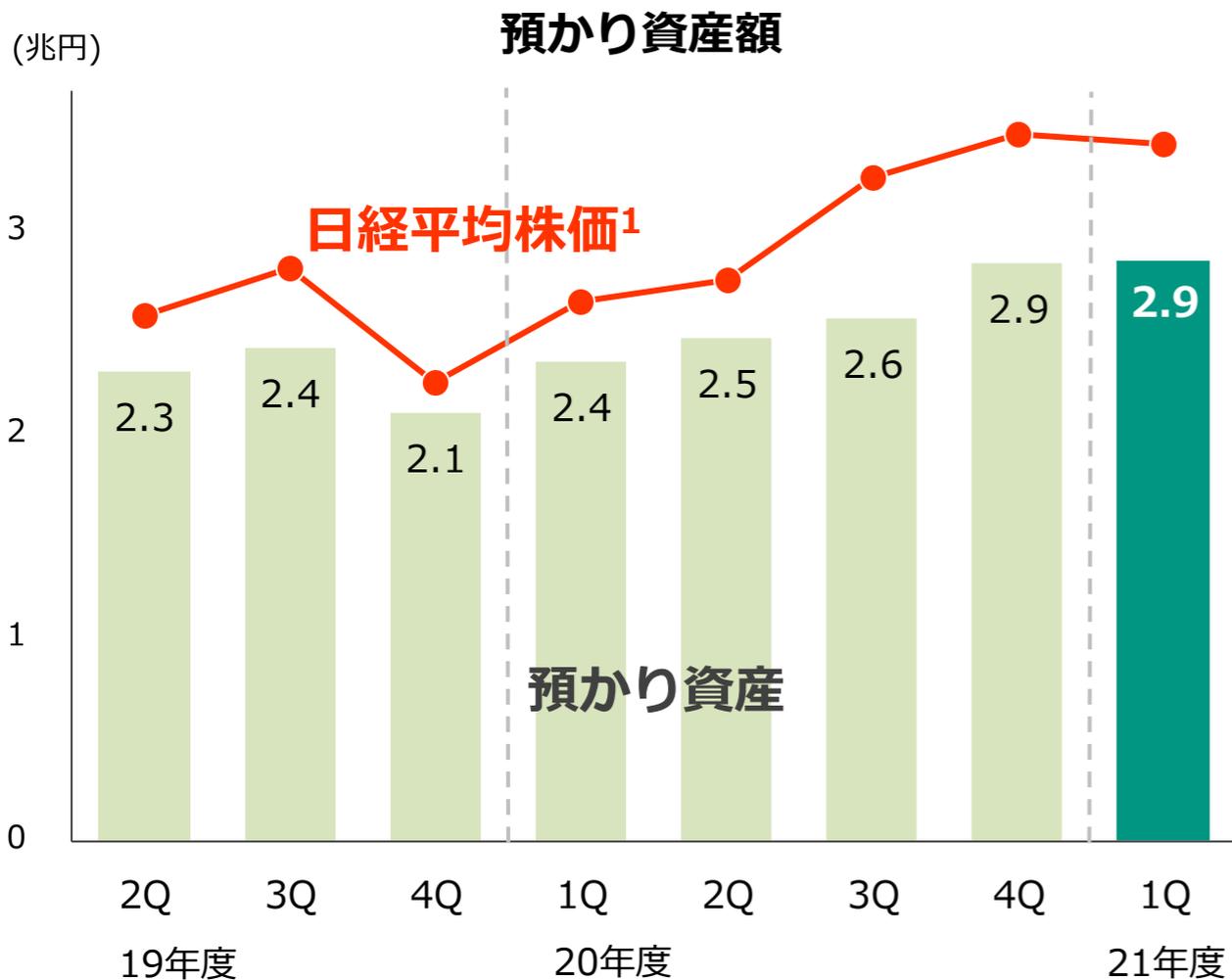
信用取引買残高に対する評価損益率

7月20日時点の評価損益率（全体）は-9.9%
新興市場における評価損益率は-16.7%



※データは月末時点（新興市場は東証マザーズ、JQ銘柄を含む）

預かり資産残高は **2.9兆円** (2021年6月末時点)

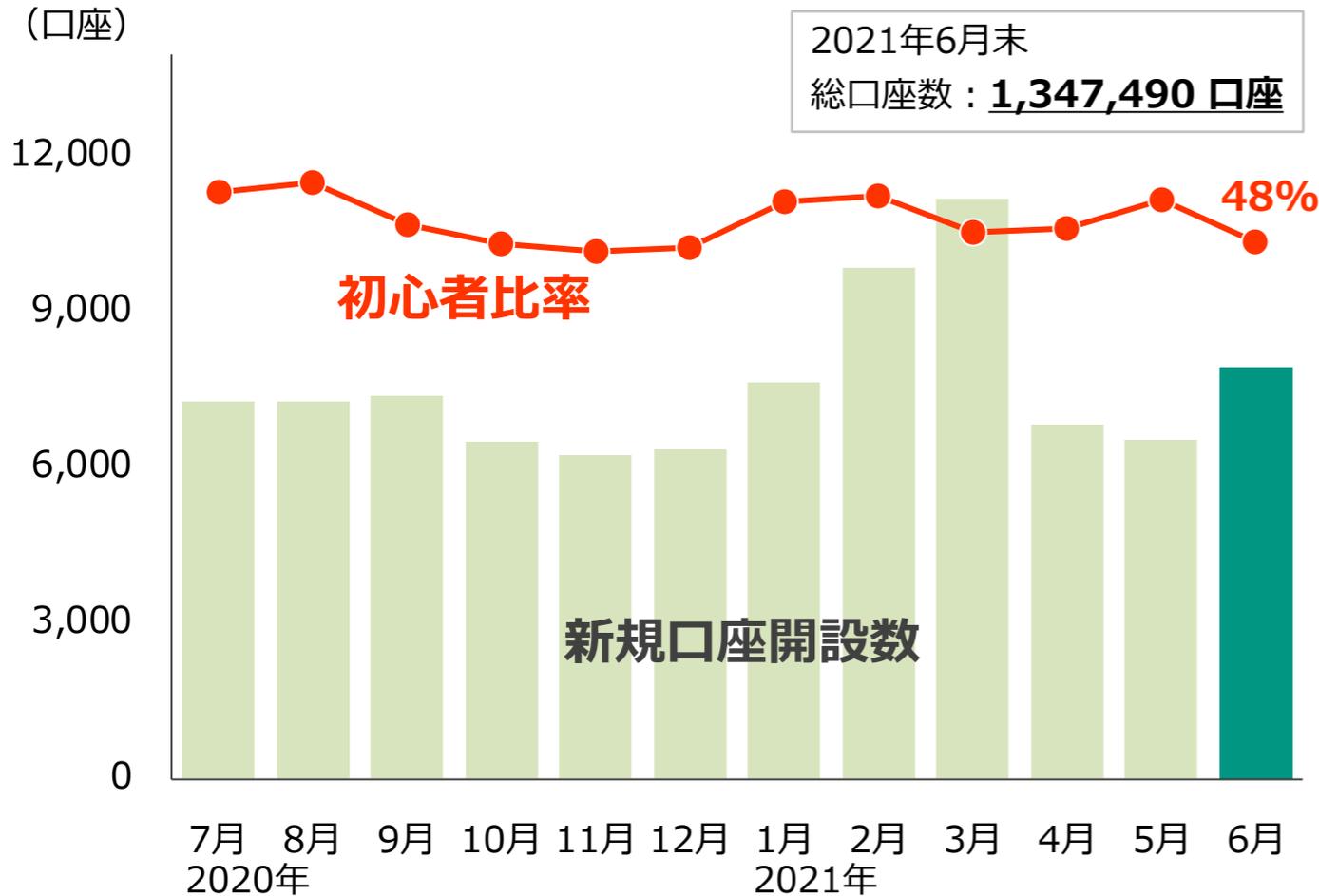


注1：日経平均株価は各期末終値

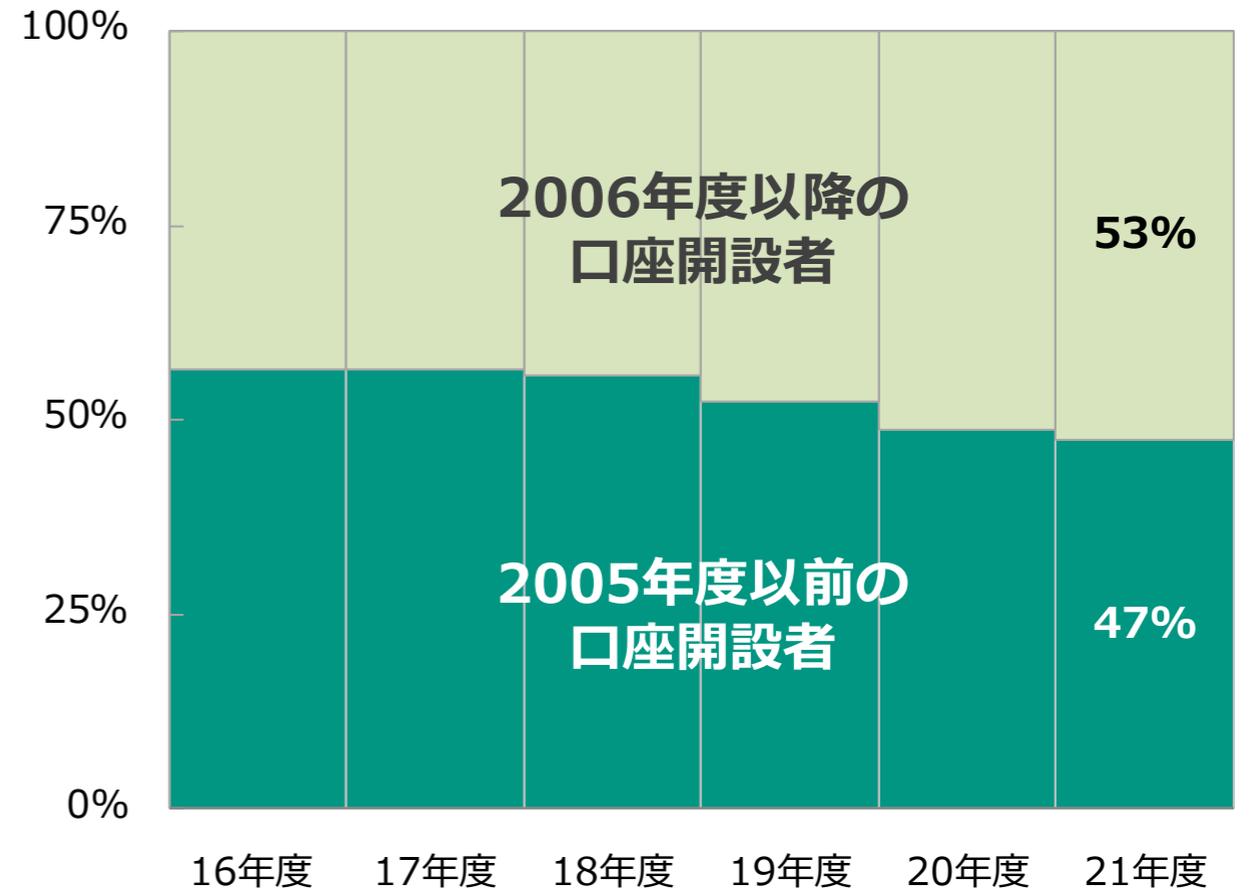
注2：入出金、入出庫の差引合計は該当期間の流入額（フロー）であり、各期末時点の残高とは異なる

1Qの新規口座開設数は月間平均 7,200口座

新規口座開設数の推移
新規口座開設者に占める初心者¹比率



口座開設年度別 株式売買代金比率²

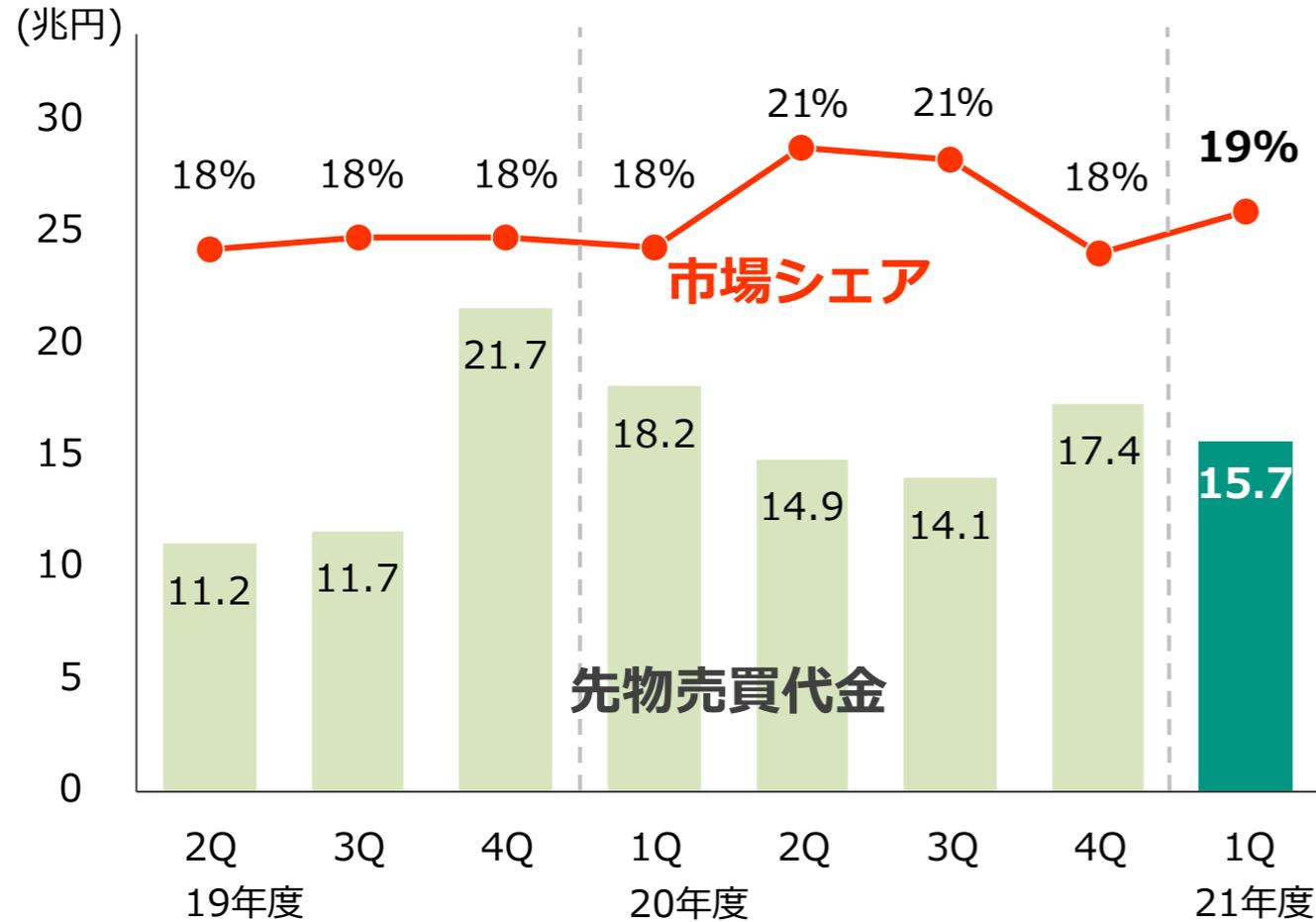


注1：口座開設時のアンケートに「株式取引経験なし」と回答した顧客

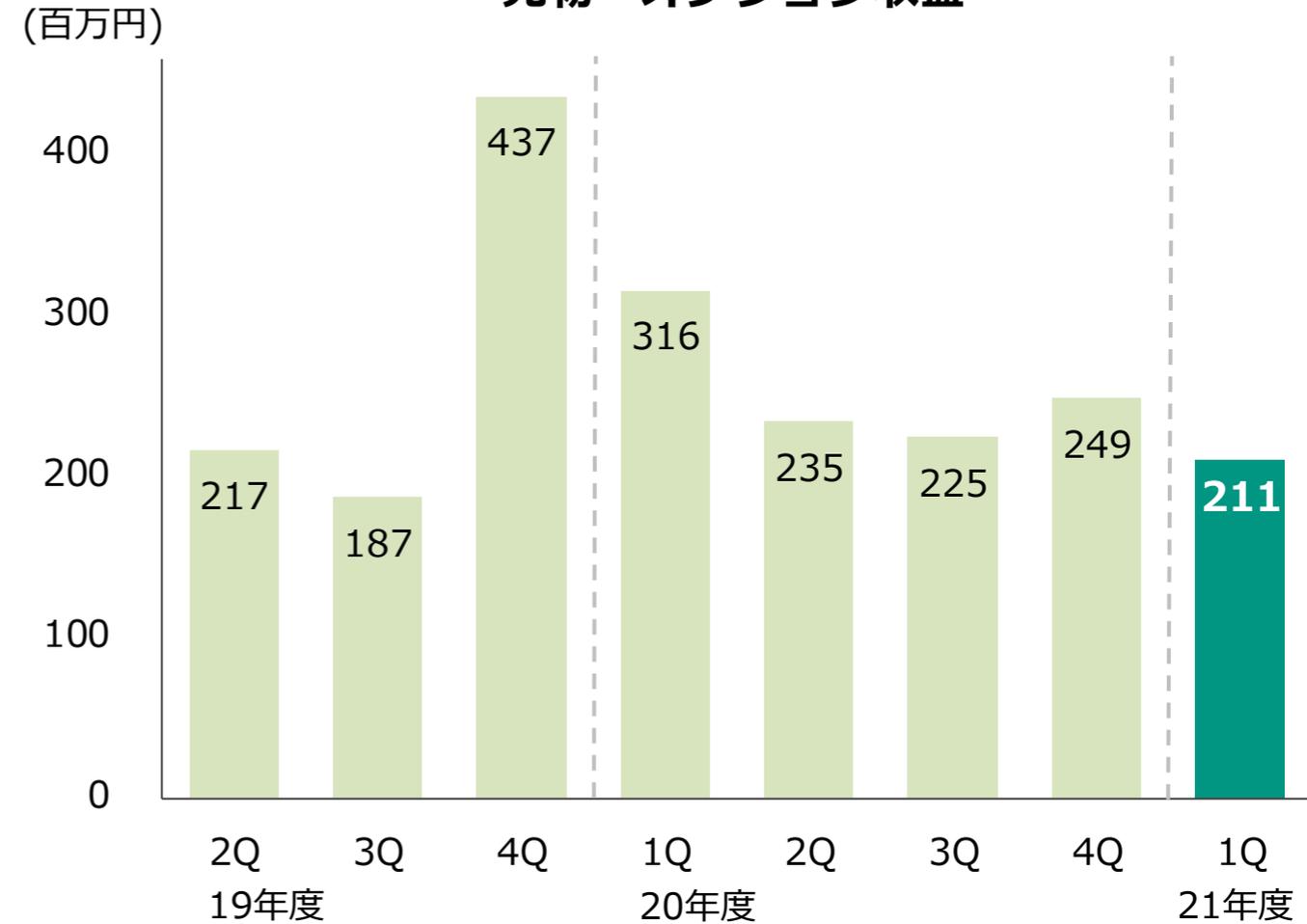
注2：一日信用取引の売買代金は除く

当社の市場シェアは**19%**

先物売買代金と市場シェア

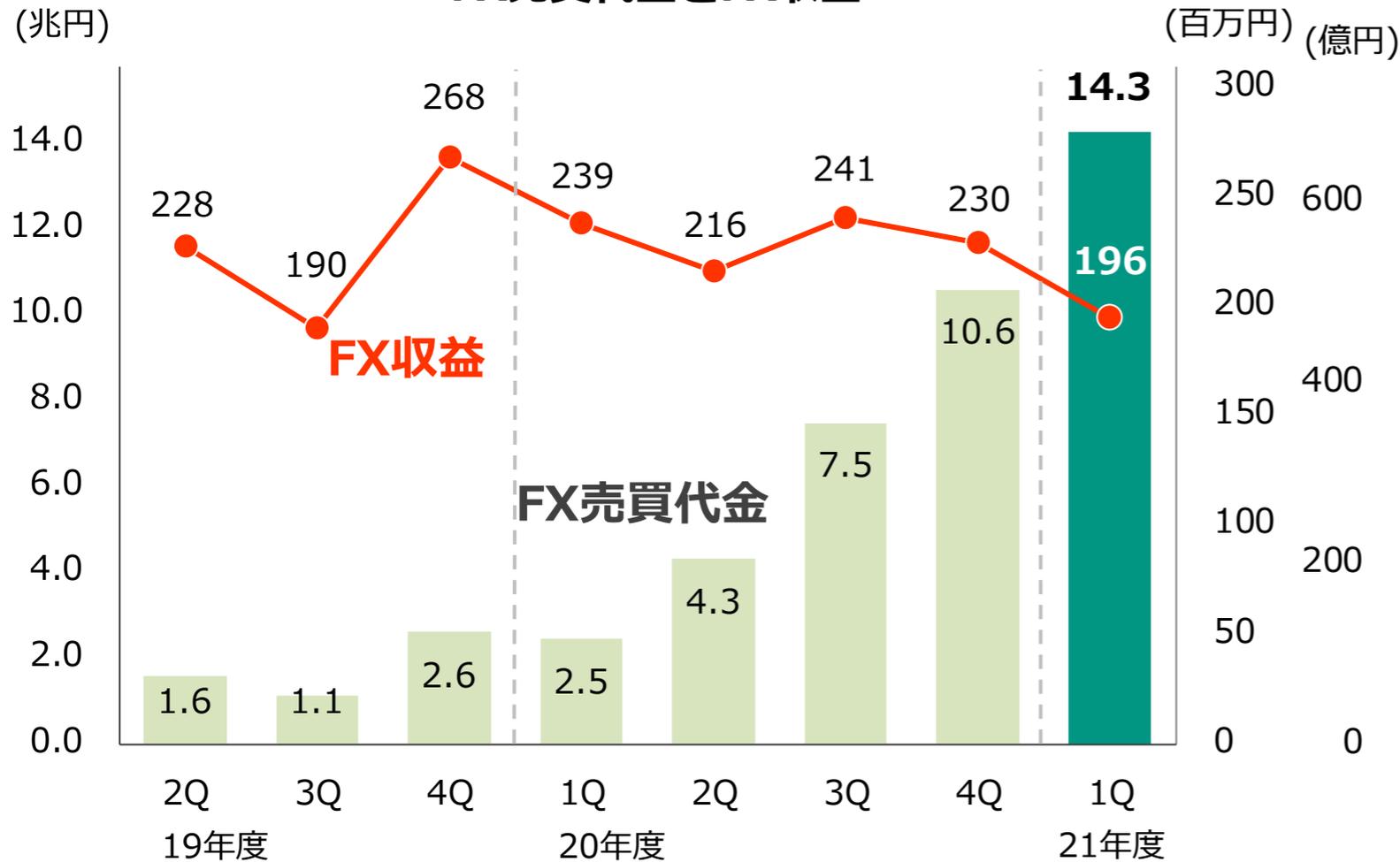


先物・オプション収益

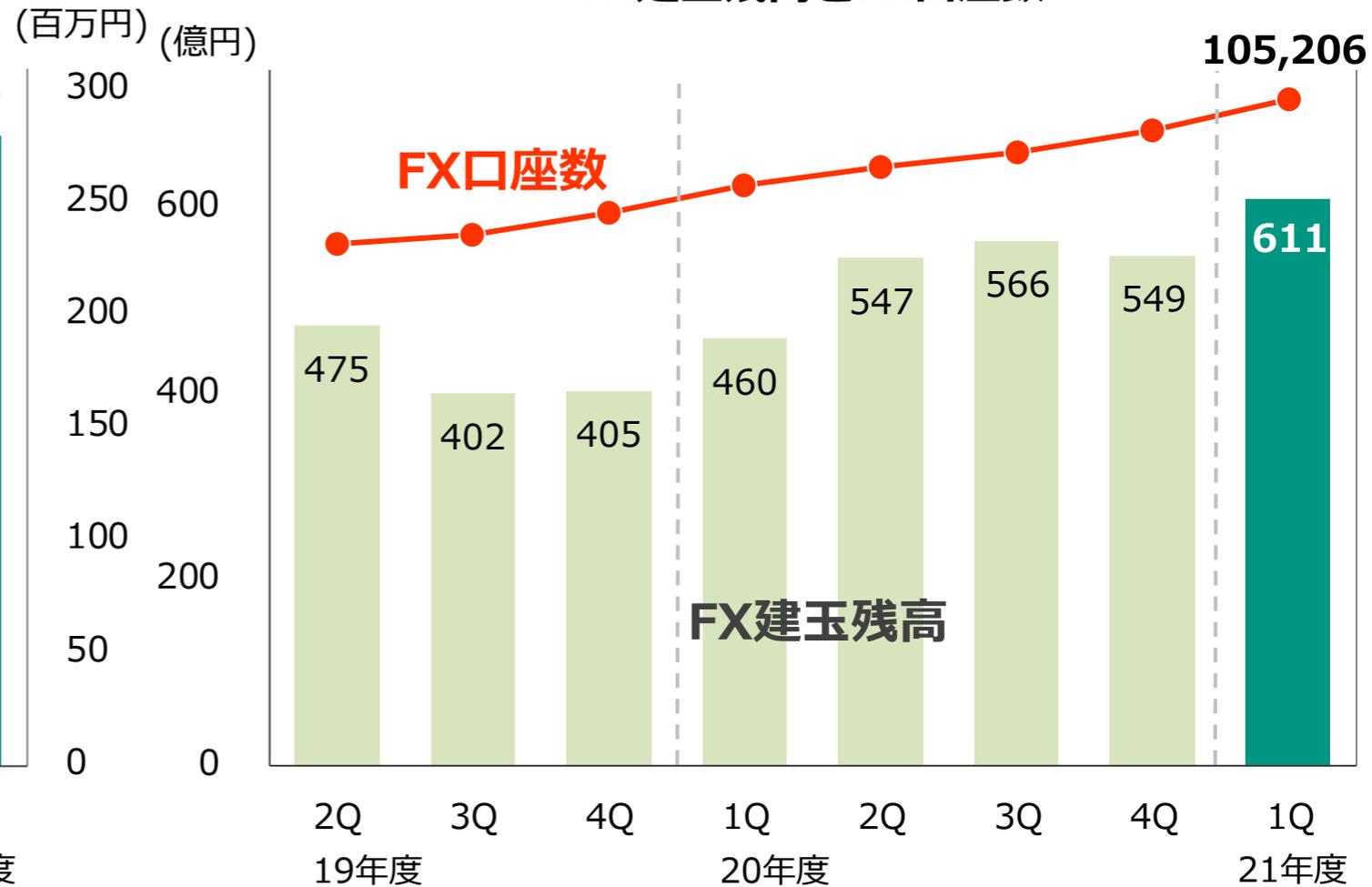


スプレッド縮小に伴い、売買代金が大きく増加 3月からのプロモーション強化に伴い、口座数も増加傾向

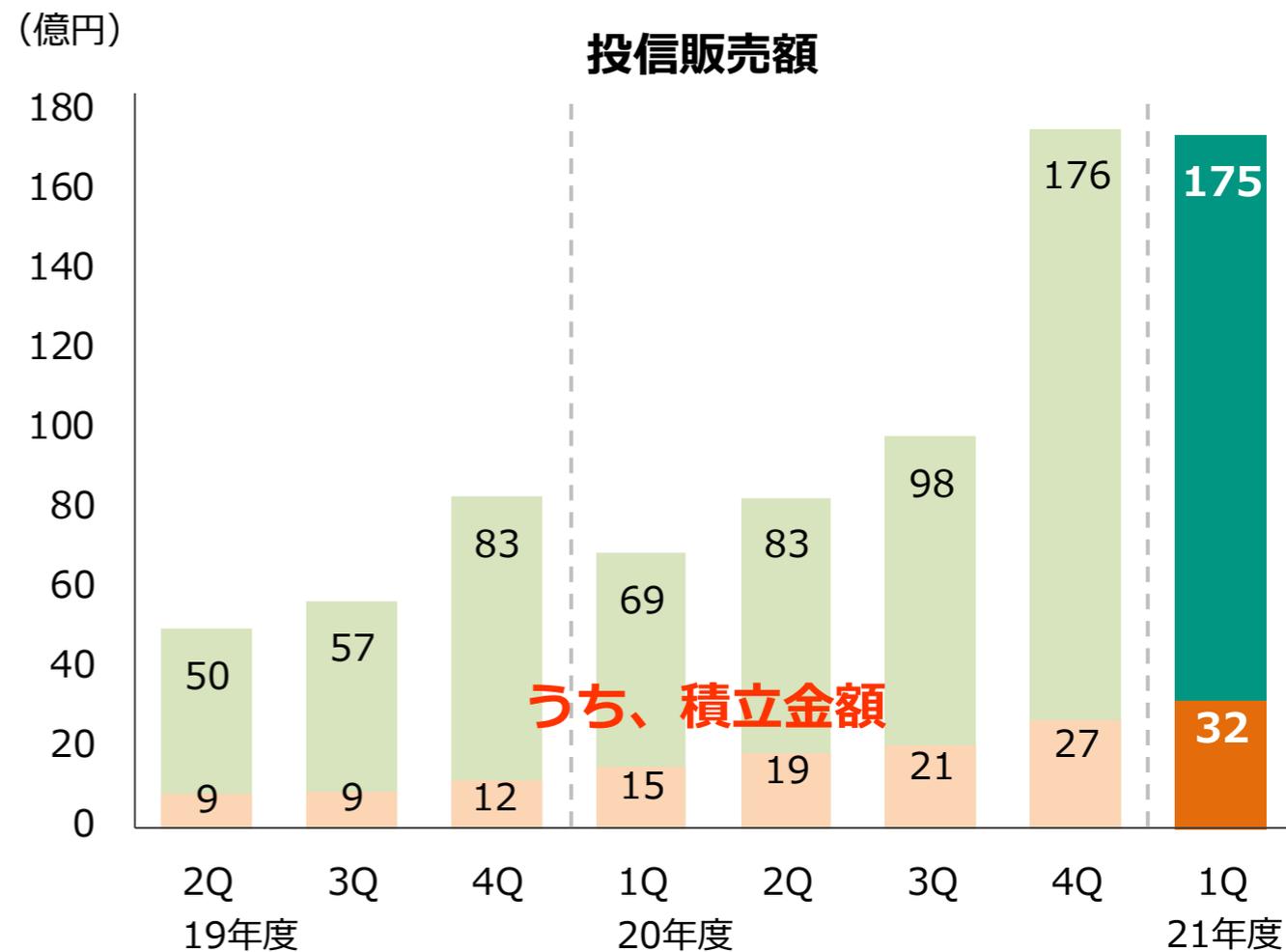
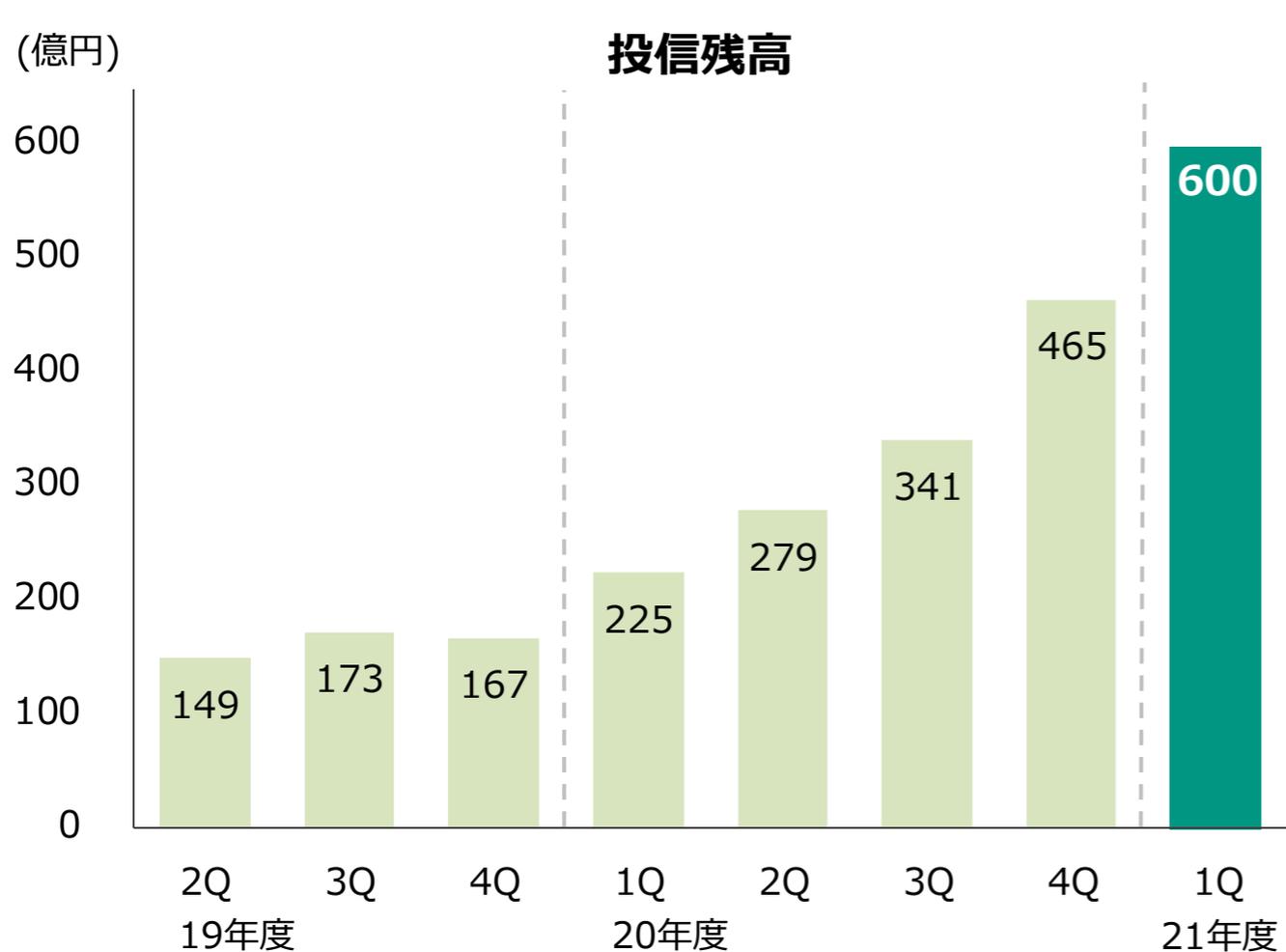
FX売買代金とFX収益



FX建玉残高とFX口座数



投資信託の残高は**600億円**、取扱銘柄数は **1,497本** (2021年6月末時点)



1. 決算の状況
2. ビジネスの状況
- 3. 経営戦略・取組み施策**

Appendix

企業理念

個人投資家にとって価値のある金融商品・サービスの提供を通じて**お客様の豊かな人生をサポート**する

経営目標

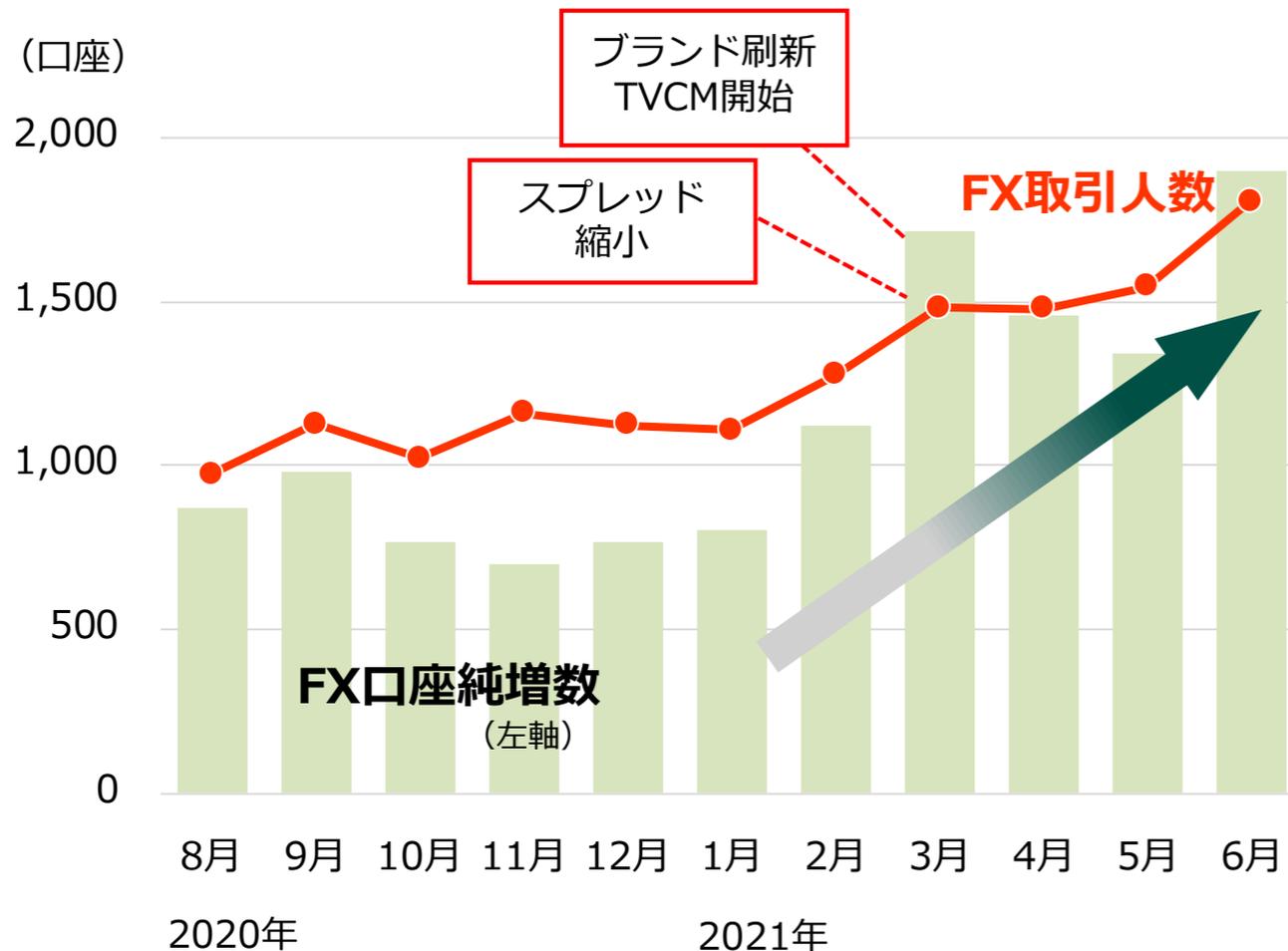
優位性のある**顧客体験価値**を提供する

経営戦略

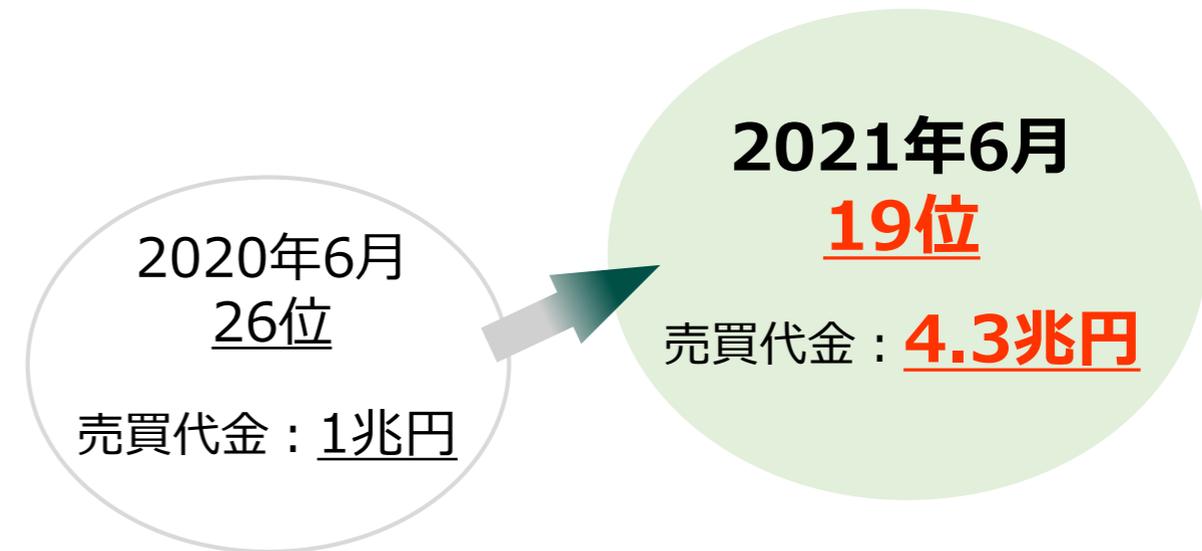
- ✓ 商品サービスの**ラインアップ**拡充
- ✓ 継続的なサービス**クオリティ**の引き上げ
- ✓ 顧客との**コミュニケーション**の充実

サービスの改善とプロモーションによりビジネスが拡大

◆ 新規顧客数、取引人数が増加



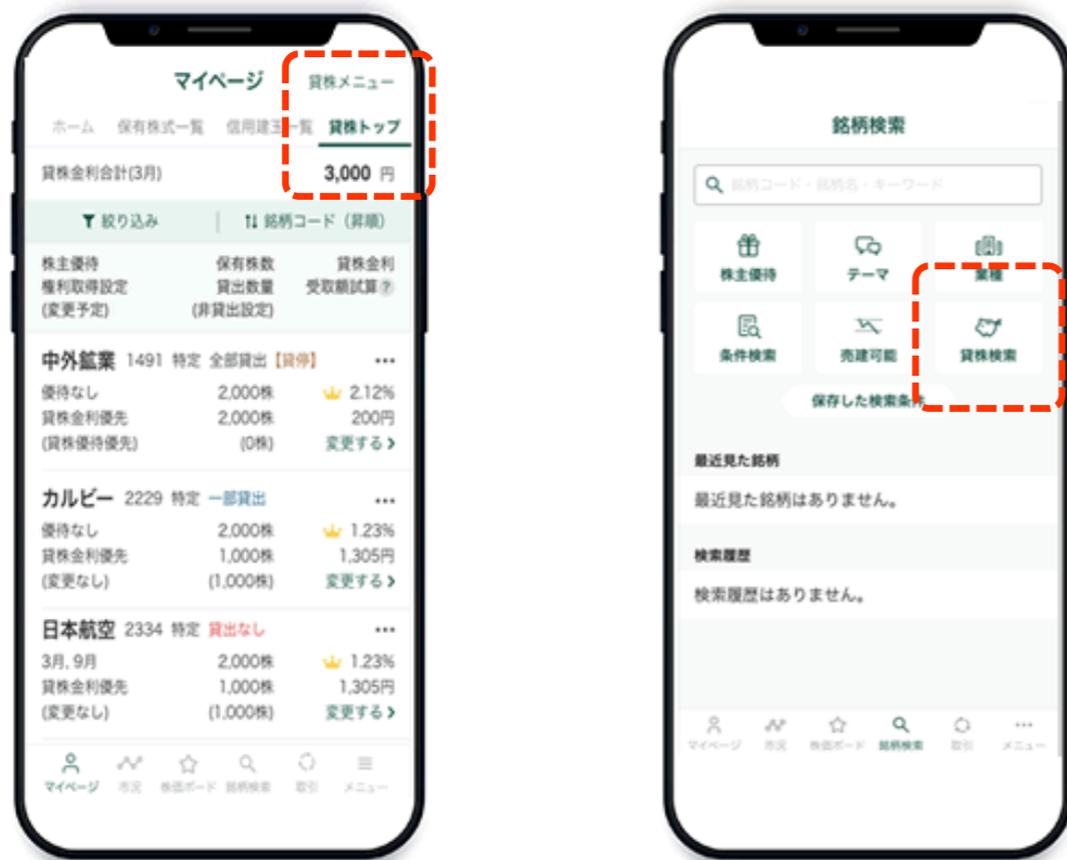
◆ 売買シェアも上昇



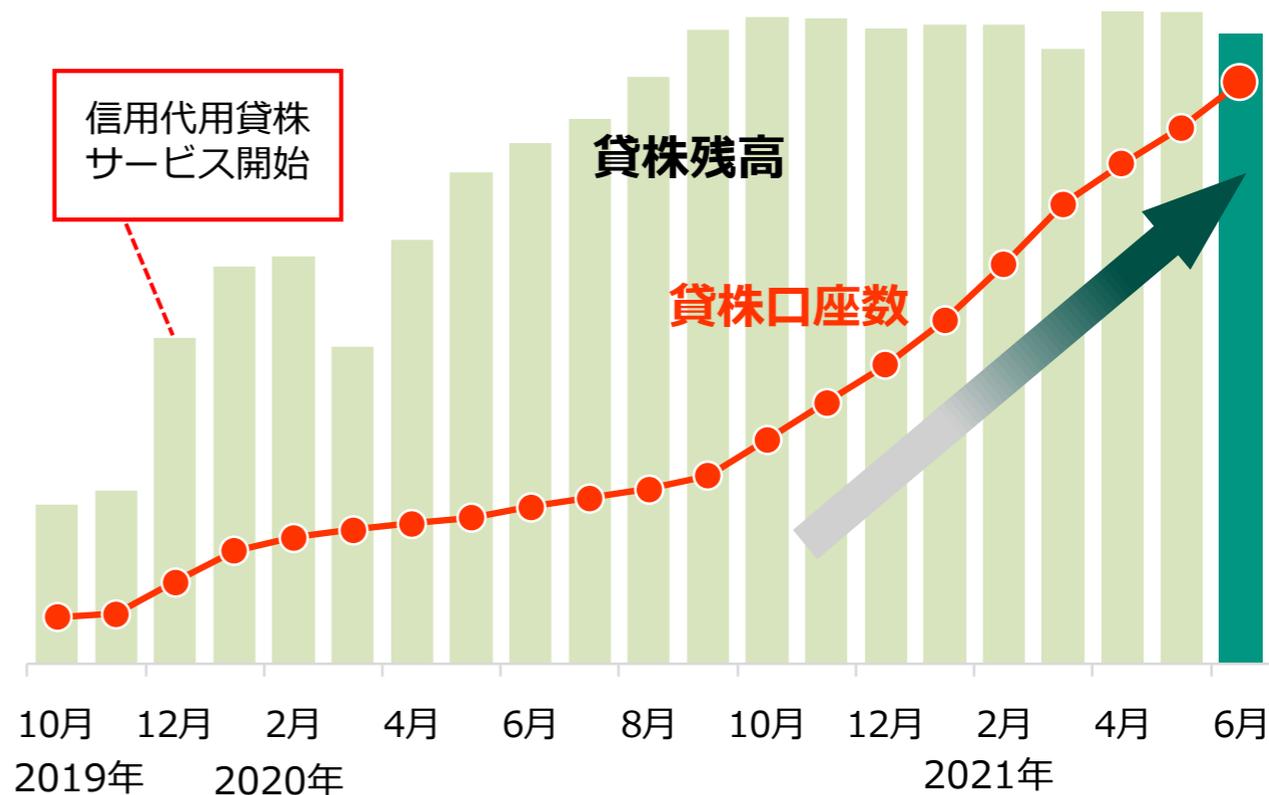
テレビCMや動画配信など
プロモーションの強化を継続

アプリに貸株サービスの機能を追加、利用を促進

◆いつでも使えて手軽で便利に



◆貸株口座数と貸株残高の推移



動画コンテンツの拡充により、信用口座数が増加

◆楽しく学べる動画



資産運用！学べるラブリー Season2 #8

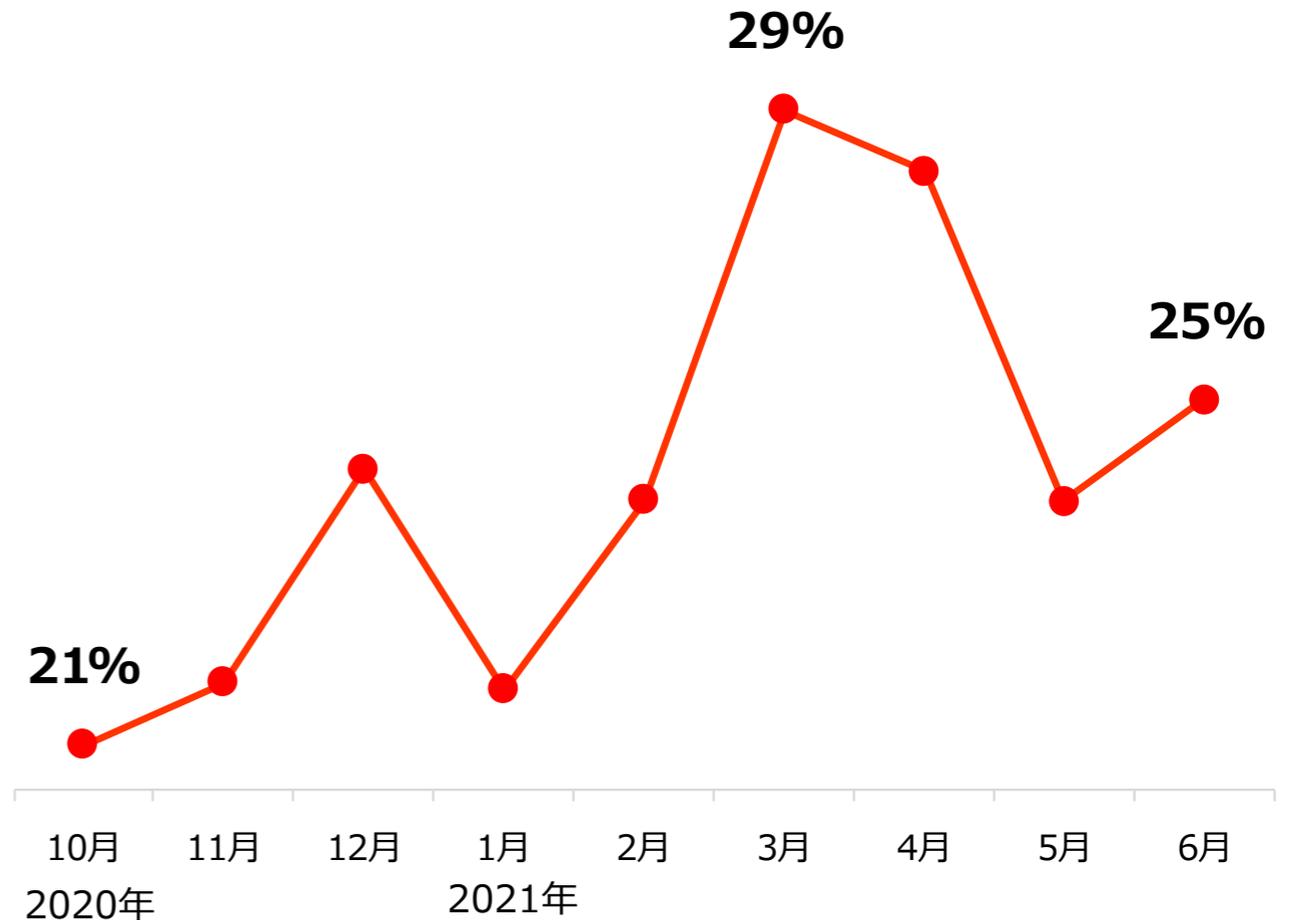
<https://www.youtube.com/watch?v=u7O2qkn-rlo&list=PLWCikZSO9xMafNRcBzV-mWVtVuocOGMAq&index=11>



資産運用！学べるラブリー Season2 #10

<https://www.youtube.com/watch?v=u7O2qkn-rlo&list=PLWCikZSO9xMafNRcBzV-mWVtVuocOGMAq&index=11>

◆信用口座開設率※の推移



※各月の総合口座開設者のうち、信用口座を開設した人の比率

プロモーションが奏功し、新規顧客※¹が増加 残高が600億円を突破

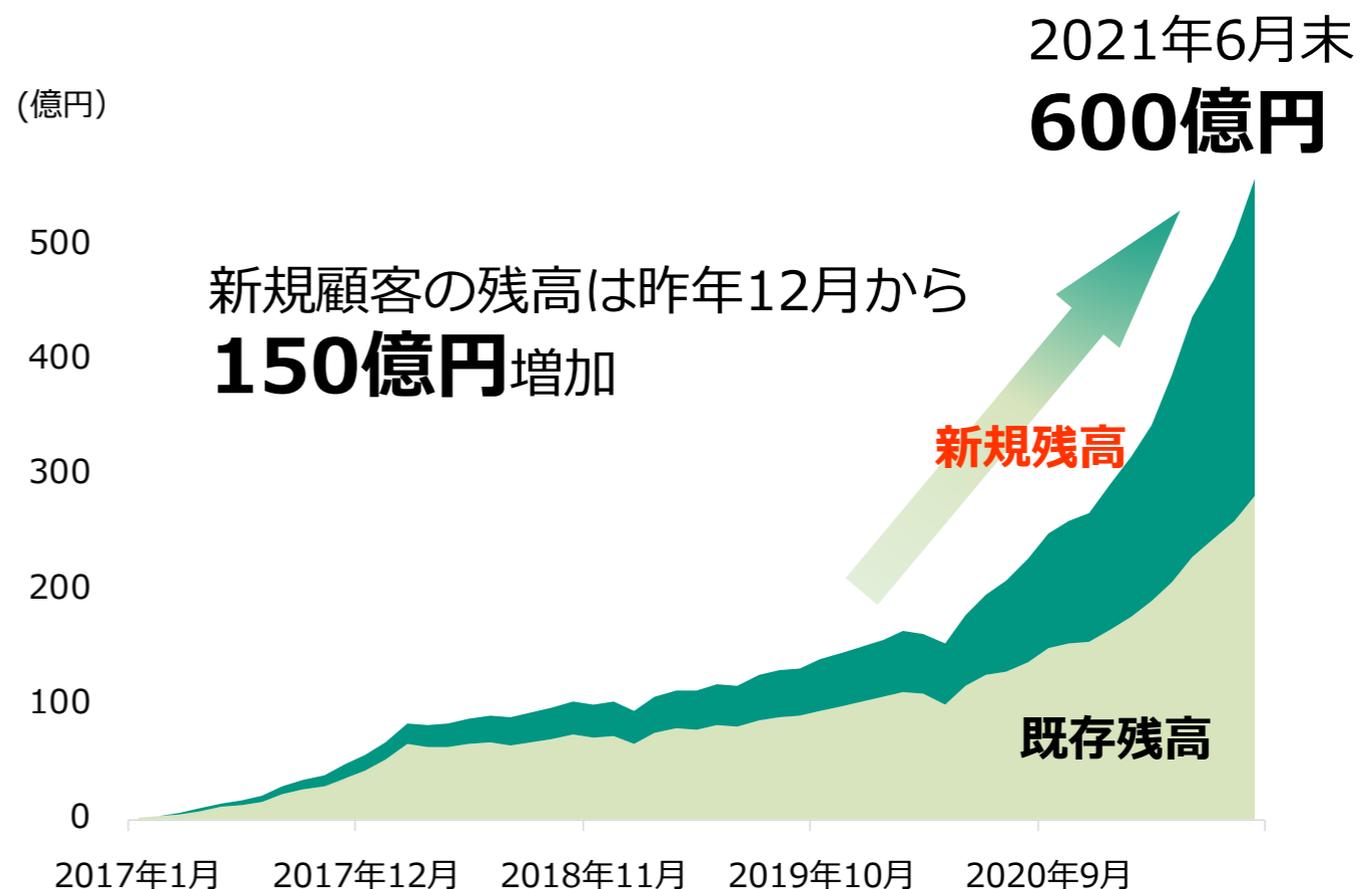
◆プロモーションの取組み

テレビCMの放映「ライフと松井」
新規顧客を開拓



YouTube: ライフと松井 総集編
<https://www.youtube.com/watch?v=r2nh7y6aAC4>

◆投信残高の推移



※1.総合口座開設後60日以内に投資信託を保有した顧客

ネットワークを強化して、さらなるシェア拡大につなげる

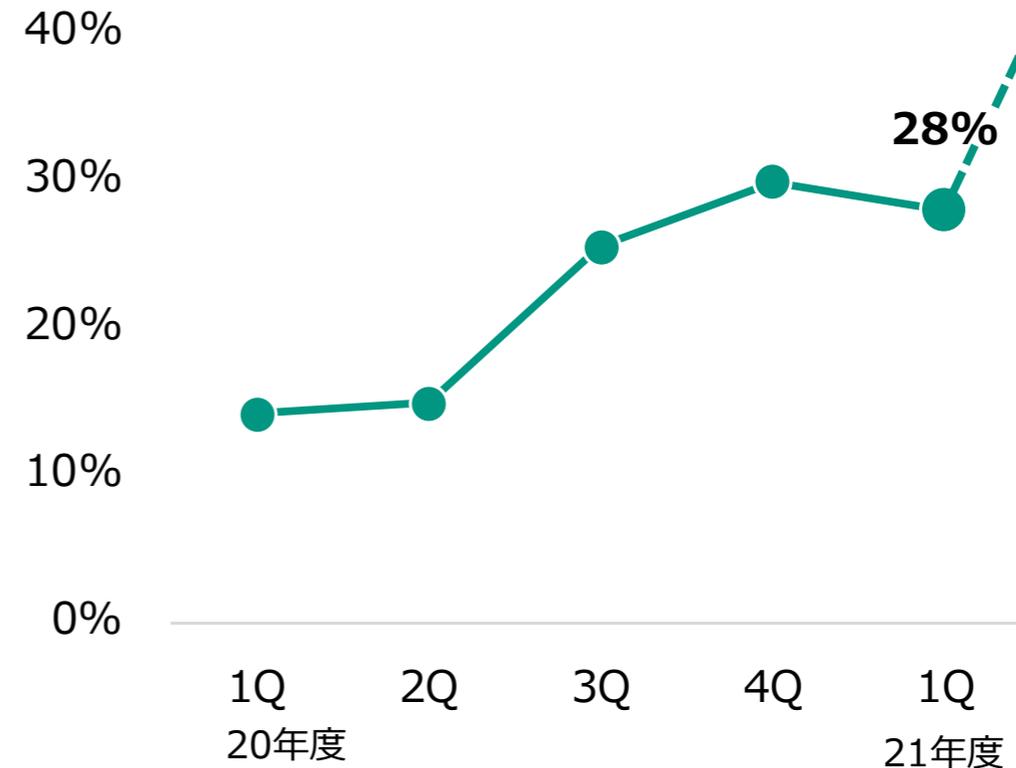
◆ベンチャーキャピタルへの出資

- ✓ 有力VCに幅広く出資することで、
上場検討企業との接点を拡大

9→**11社**へ
今後も強化を継続

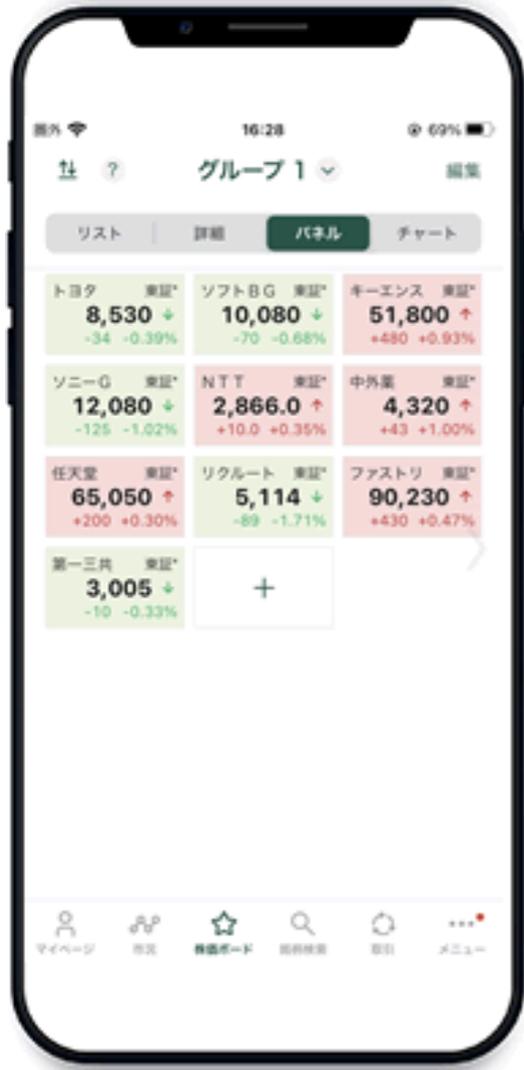
**IPO引受参入率
40%超を目指す**

◆引受参入率の推移



7月
参入率
66%

お客様の声を反映し、継続的にアップデート



累計7万ダウンロード! ※1
新規顧客※2の40%が
アプリ経由で取引!

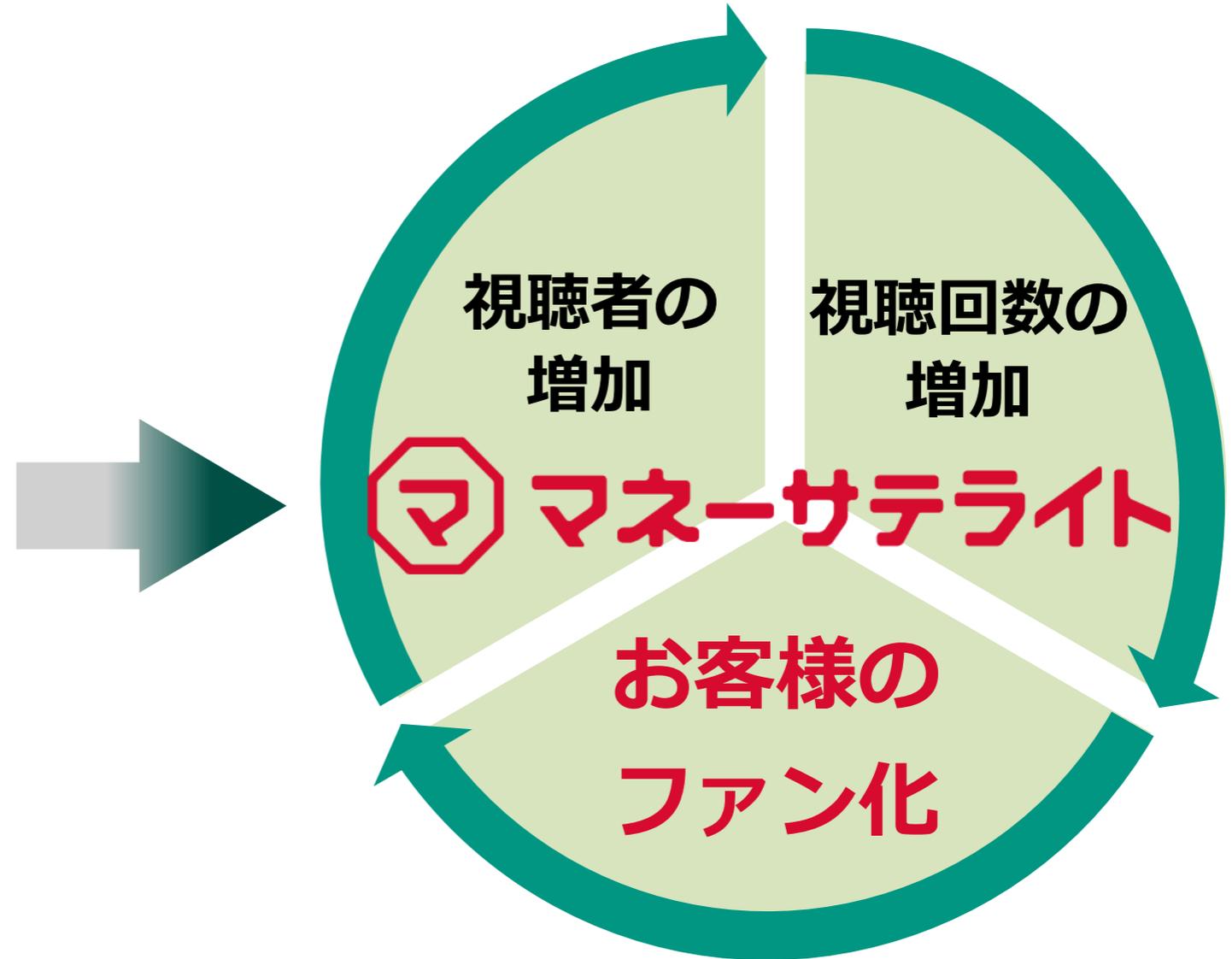
※1 2021年6月の実績値
※2 新規顧客は総合口座開設後60日以内の顧客

◆2021年7月 Phase 2.0 アップデート

- ・チャート画面の改善
- ・ランキング機能の拡充

◆秋頃に Phase 3.0 アップデート実施

コンテンツを拡充して、ファン顧客層を広げる



わかりやすく面白いコンテンツが、認知度向上と口座獲得に貢献

◆ 「資産運用！学べるラブリー」 Season2の実績



- ✓ Season1、Season2合計で**350万回**再生
- ✓ Youtubeチャンネル登録者は3か月で4倍の**4万人**に

今後もお笑い芸人とコラボした動画作成や、各種セミナーの配信を予定

知名度・信頼度を高め、「最初にイメージされる証券会社」に

◆ コンセプト「ライフと松井」

- ✓ 「お客様の豊かな人生をサポートする」

◆ 優待名人 桐谷さんとのタイアップ

- ✓ 投資の入り口として「優待」をアピール
- ✓ 都営地下鉄線のつり革に出稿



若年層の資産形成をサポート 親しみやすいコンテンツを展開

◆ 取引手数料の無料化

- ✓ 25歳以下の取引手数料を無料に
- ✓ 現物に加え、信用取引の手数料も対象

1日の約定代金合計	26歳以上	25歳以下
50万円まで	無料	無料
100万円まで	1,100円(税込)	
200万円まで	2,200円(税込)	
	100万円増えるごとに 1,100円加算(税込)	
1億円超	110,000円(税込)(上限)	

◆ 東大金融研究会投資バトル

- ✓ 銘柄選びの理由や気になる銘柄を解説
- ✓ 若年層の投資に対する考え方がわかる



<https://money-satellite.matsui.co.jp/movie/investment/stock/mv-8YdfbxfG7p1V.html>

監査等委員会設置会社へ移行 ガバナンスを強化

◆ 監査等委員会設置会社へ

- ✓ 独立社外取締役 3分の1以上
- ✓ 実効性の高い経営の監督

◆ プライム銘柄としてより高いガバナンス体制へ

- ✓ 取締役会の実効性評価の実施（21年度）
- ✓ スキル・マトリクス公表（22年度）

◆ 多様な働き方を支援する制度

- ✓ 育児休暇復帰率100%（20年度実績）
- ✓ 小学校6年生まで時短勤務
- ✓ 1時間単位の休暇制度
- ✓ 厚生労働大臣認定「子育てサポート企業」
- ✓ 在宅勤務制度の充実（全社員にPC端末、周辺機器を配布）
- ✓ 時差出勤の奨励

◆商品サービスの**ラインアップ**拡充

- ✓ 米国株の導入（22年2月頃）

◆継続的なサービス**クオリティ**の引き上げ

- ✓ 株アプリ機能改善（21年7月、秋頃）
- ✓ 注文有効期間の延長（21年11月）
- ✓ スマートフォンサイトの新設（22年初）

◆顧客との**コミュニケーション**の充実

- ✓ 投資に役立つ動画配信（随時）
- ✓ 株の取引相談窓口キャパシティ倍増（21年10月）

1. 決算の状況
2. ビジネスの状況
3. 経営戦略・取組み施策

Appendix

業績推移（四半期推移）①

(単位：百万円)

	2020年3月期			2021年3月期				2022年3月期
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
営業収益	5,713	6,091	6,790	7,164	7,024	7,381	8,512	7,476
純営業収益	5,231	5,521	6,440	6,830	6,610	7,042	8,190	7,181
販管費	3,158	3,259	3,780	3,853	3,717	3,811	4,464	4,122
営業利益	2,073	2,262	2,660	2,977	2,893	3,232	3,726	3,060
経常利益	2,069	2,306	2,646	3,034	2,878	3,260	3,747	3,103
当期純利益	1,433	1,594	1,736	2,108	3,381	2,258	2,536	3,954
営業収益経常利益率	36%	38%	39%	42%	41%	44%	44%	41%
当社株式売買代金（兆円）	5.7	6.0	7.5	9.3	8.5	9.0	10.7	9.1
当社信用取引平残（億円）	2,290	2,294	2,330	2,194	2,517	2,648	2,890	3,211

業績推移（四半期推移）②

(単位：百万円)

	2020年3月期			2021年3月期				2022年3月期
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
受入手数料	3,010	3,359	4,116	4,671	4,118	4,421	5,347	4,249
委託手数料	2,837	3,205	3,964	4,517	3,908	4,240	5,147	4,062
株式・ETF	2,620	3,018	3,527	4,200	3,674	4,015	4,898	3,851
先物・オプション	217	187	437	316	235	225	249	211
その他の受入手数料	159	141	151	154	184	155	188	177
トレーディング損益	318	230	288	225	189	197	217	137
金融収益	2,385	2,502	2,387	2,268	2,717	2,763	2,948	3,090
金融費用	482	570	350	334	415	339	322	295
金融収支	1,902	1,932	2,037	1,934	2,302	2,424	2,626	2,795

業績推移 (四半期推移) ③

(単位：百万円)

	2020年3月期			2021年3月期				2022年3月期
	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
取引関係費	1,078	1,067	1,446	1,378	1,306	1,418	1,828	1,564
取引所・協会費	262	268	353	387	367	367	405	354
通信・運送費	418	426	467	464	466	470	503	483
広告宣伝費	220	191	418	303	258	342	661	492
人件費	646	640	633	703	652	677	801	706
不動産関係費	282	285	286	274	240	241	255	256
事務費	678	700	731	797	769	778	832	805
減価償却費	446	463	468	495	547	535	544	588
租税公課	69	72	79	103	157	114	117	163
貸倒引当金繰入	△ 72	△ 3	59	56	3	△ 6	42	△ 22
その他	30	35	78	48	41	54	45	62
販管費合計	3,158	3,259	3,780	3,853	3,717	3,811	4,464	4,122

大正7年創業以来、昔も今も個人のお客様とともに

証券コード：8628



本資料は、2022年3月期第1四半期決算の業績および今後の経営ビジョンに関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。また、本資料は2021年7月27日現在のデータに基づいて作成されております。

本資料に記載されている事項は、資料作成時点における当社の見解であり、その情報の正確性および完全性を保証または約束するものではなく、今後、予告なしに変更されることがあります。なお、本資料で使用するデータおよび表現等の欠落・誤謬等につきましてはその責を負いかねますのでご了承ください。

本資料は将来の予測等に関する情報を含む場合がありますが、これらの情報はあくまで当社の予測であり、その時々状況により、変更を余儀なくされることがあります。なお、変更があった場合でも、当社は本資料を改訂する義務を負いかねますのでご了承ください。

業者名等：松井証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第164号

加入協会名：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会

◆投資にかかるリスク・手数料についてはこちらをご参照ください。 <https://www.matsui.co.jp/utility/rule/disclaimer.html>